

令和6年度 尾張旭市営バス利用状況報告書



令和7年12月
都市整備部都市計画課

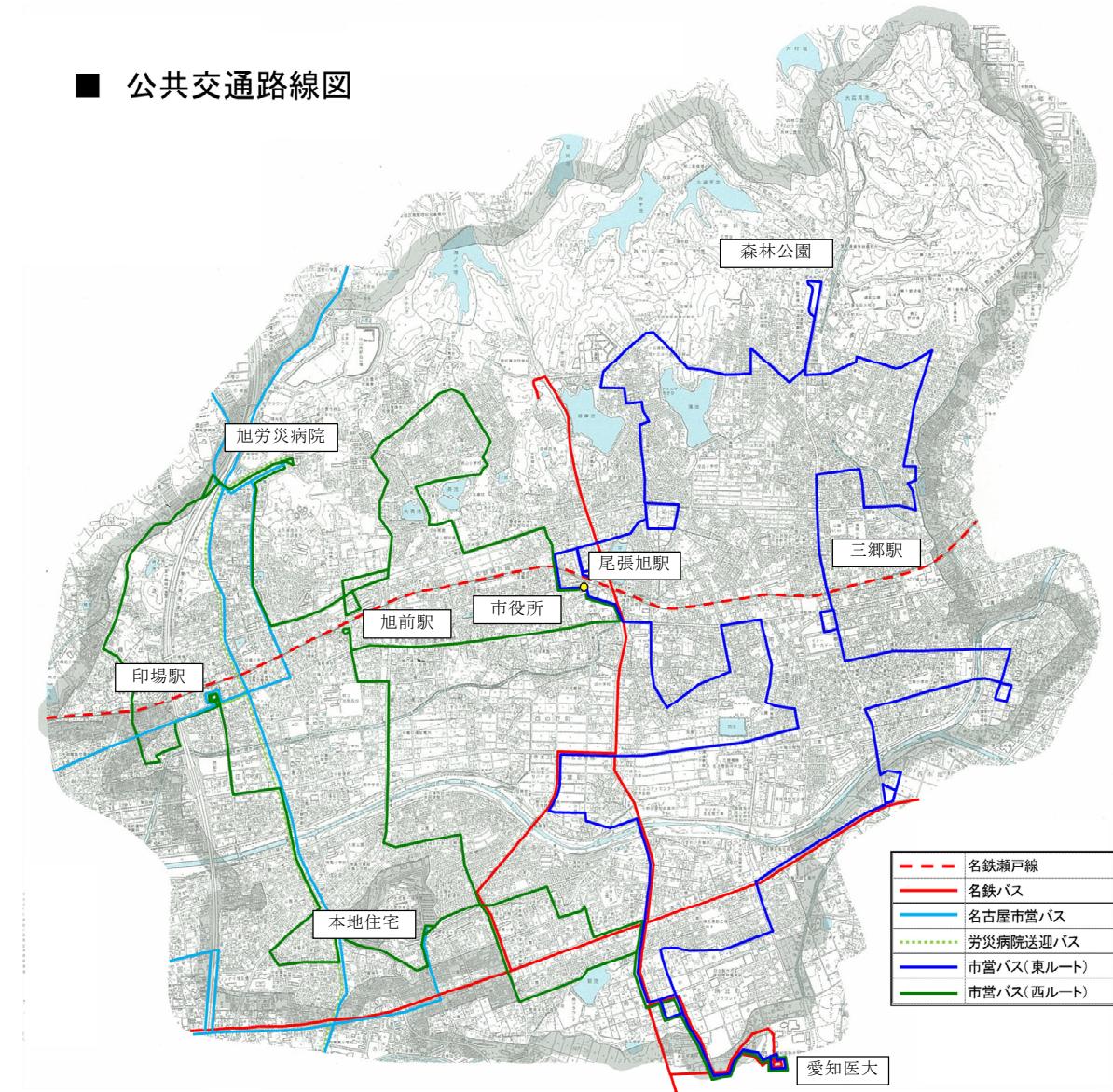
目 次

1 市営バスの概要 -----	1
2 市営バス運行の経緯 -----	2
(1) 試験運行開始前 -----	2
(2) 試験運行の実施 -----	3
(3) 本格運行の実施 -----	3
(4) 運行見直しの検討、運行内容変更-----	3
3 市営バスの利用状況 -----	6
(1) 利用者の推移 -----	6
(2) ルート別利用者数の状況 -----	7
(3) 運行便別利用者の割合（平日） -----	8
(4) 運行便別乗降者数の状況（平日ルート別） -----	9
(5) 停留所別利用者数の状況 -----	12
(6) ルート別の停留所利用の状況 -----	21
(7) 平日第1便のバス車内平均乗車人員の状況-----	25
(8) 曜日別平均利用者数の状況 -----	28
4 市営バスの運行経費の状況 -----	29
(1) 市営バスの運行経費の状況 -----	29
(2) 近隣市町のコミュニティバス運行経費等の状況 -----	30
5 市営バス運行に対する市民意識 -----	32
令和6年度利用者アンケート調査集計結果 -----	34

1 市営バスの概要 (~R7.3.31)

- 本市の市営バスは、平成20年4月1日から、4ルート（西、南西、東及び南ルート）の「シャトル方式」で本格運行を開始しました。そして、同年10月1日から、西ルートと南西ルートを統合した「西ルート」、東ルートと南ルートを統合した「東ルート」の2ルートに再編し、それぞれ「右回り」及び「左回り」の「双方向ループ方式」による運行に変更しました。
- 本報告書は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの、1年間の西ルート（マイクロバス 定員22人）及び東ルート（マイクロバス 定員26人）の利用者数を集計したものです。
- 利用料金は、1回100円で、小学校未就学児並びに障がい者（児）本人及びその付添い人1人は無料としています。また、1枚綴り1,000円の回数乗車券及び1か月3,000円の定期乗車券があります。
- 運行日は、年末年始（12月29日から1月3日まで）を除く毎日としています。また、平日は運行時間を8時10分から19時10分までとし、1日9便、休日（土日祝日）は運行時間を9時10分から17時40分までとし、1日5便を運行しています。
- 運行距離は、西ルートが23.9km、東ルートが24.2kmとされています。

■ 公共交通路線図



2 市営バス運行の経緯

(1) 試験運行開始前

ア 平成15年度以前

▽ 平成10年度

市議会定例会において、多数の会派から巡回バスについて質問。

▽ 平成11年度

巡回バス実現に係る18,000人余りの署名が、「だれでも乗れる市内巡回バスの早期実現と高齢者・障害者への交通助成費を求める陳情書」として提出。

▽ 平成12年度

交通問題対策特別委員会の設置。

イ 平成15年度

▽ 本市における生活交通のあり方を検討するものとして、学識経験者や市民の代表、公募委員からなる「尾張旭市交通問題対策協議会」を開催。

▽ 協議会では、地域交通に係る勉強会や他自治体の事例の視察、公共交通移動実態調査の検証等を実施。

▽ 協議会からの主な提言

・市内には、公共交通に恵まれた地域もあるが、一方では移動に制約を受ける交通空白地もある。このため、まずは公共交通のサービス水準が相対的に低い地域を対象として、市による新たな交通手段の確保を図ること。

・可能な限り早期に、市による新たな交通手段を具体化するため、まずは試験運行の実現のための検討組織の設置や必要な予算措置などを行うことと合わせ、真に市民の利活用があるかデータを収集すること。

・新たな交通手段によるサービスの維持などは、市民の利用の状況に大きく左右されることであり、それを利用し、守り育てていくことは市民の責任でもあることを訴えること。

・通勤通学者を考えると、運行時間が早朝から夜までになり、運行経費もかかる。まず、第1歩を始めることが重要という観点から、「元気で歩けるお年寄り」などを対象に、1人で活動可能な人の交通手段を考えること。

ウ 平成16年度

▽ 提言に基づき、試験運行の仕組みを構築する組織として、「尾張旭市交通問題懇話会」を開催。

▽ 懇話会では、平成15年度に行った公共交通移動実態調査の結果に基づき、ルート設定や使用車両の検討を実施。また、既存のバス停及び鉄道駅から500メートル圏外を「市内の交通空白地」と定義し、その解消を目指すことを確認。

(2) 試験運行の実施

ア 平成16年12月1日～平成17年7月31日

料金を1回100円として、9人乗りワゴン車3台で、西ルート、東ルート及び南ルートの3ルートの試験運行を開始。なお、満車時においては箱型タクシーにて対応。

その結果、南ルートの利用状況が少なく、更なる利用増進が課題となった。

イ 平成17年8月1日～平成18年8月6日

主に南ルートを増強し、愛知医大及び本地ヶ原住宅に停留所を設置。その結果、乗り継ぎ利用者の増加と、これに伴う乗りこぼし対応タクシーの増加が発生。さらに、運行頻度の充実に対する要望や、未運行地域からの要望も増加。

ウ 平成18年8月7日～平成20年3月31日

ルートの見直しを行い、3ルートから4ルートに拡充（南西ルートを新たに増設）。

また、平成19年12月5日からは、西ルート、東ルートにマイクロバスを導入。これに合わせ、車両デザインを市民公募するとともに、愛称を「あさぴー号」とした。なお、南ルート及び南西ルートについては、引き続き9人乗りワゴン車にて対応。

(3) 本格運行の実施

ア 平成20年4月1日～9月30日

指定管理者制度の導入により、本格運行を開始。併せてルートの見直しを実施するとともに、障がい者本人の運賃を無料化。

また、南ルート、南西ルートに指定管理者所有のマイクロバスを導入。

イ 平成20年10月1日～

西ルートと南西ルートを統合して「西ルート」、東ルートと南ルートを統合して「東ルート」とし、「シャトル方式」の運行を、2ルート4台の車両で運行する「双方向ループ方式」に変更。

また、平成20年11月27日からは、南ルートと南西ルートで使用していた指定管理者所有の車両を、市所有のマイクロバスに変更し、4台の車両のデザインを統一。

ウ 平成24年4月1日～

名鉄瀬戸線旭前駅の駅前広場整備に伴い、西ルートを一部変更し、名鉄瀬戸線北側から旭前駅へ乗り入れを実施。

(4) 運行見直しの検討、運行内容変更

ア 平成26年4月1日～平成27年3月31日

市営バスをとりまく環境の変化、市民からの新たな要望（運行頻度の向上や日祝日運行等）及び車両の老朽化を踏まえ、運行見直しの検討を実施。

その結果、市営バスが市民生活における重要な移動手段として定着していることから、現行の運行ルートを基本とした見直しを行うこととした。

イ 平成27年4月1日～平成28年3月31日

平成26年度の検討結果を踏まえた、新たな運行ルート及び停留所位置を検討し、それに基づく運行ダイヤ及び運行経費を検討。また、利便性向上によるバス利用促進を図るため、定期券等の導入を検討。

ウ 平成28年4月1日～平成28年12月28日

運行見直しの検討結果を踏まえ、運行内容を次のとおり変更。

- ▽ 運行日：新たに日曜日、祝日を運行（運休日：年末年始（12/29～1/3）のみ）
- ▽ 運行本数：平日は1日9便、休日（土日祝日）は5便
 - ・ 平日：運行間隔は60分に1本、8時15分～19時05分
 - ・ 休日：運行間隔は100分に1本、9時20分～17時20分
- ▽ 運賃：運賃や回数乗車券はそのままに、新たに定期乗車券を導入
 - ・ 定期乗車券：1か月3,000円
- ▽ 主な新規乗り入れ先
 - ・ 西ルート：本地住宅（名古屋市営バスターミナル内に移設）
愛知医大（停留所は東ルートと共通）
 - ・ 東ルート：森林公園（園内に停留所を新設）
多世代交流館（交流館近くに停留所を新設）
- ▽ 運行距離 西ルート：24.5km 東ルート：24.4km
- ▽ 車両：車両を増車し、西ルート3台、東ルート3台 計6台で運行
 - ・ 購入する車両（4台）は現行と同車種で、デザインを一新

エ 平成29年1月4日～

運行内容見直し後、平日ダイヤの遅延運行が頻発し、利用者からの問合せや苦情が多発したことから、遅延調査を実施。遅延の実態を把握したうえで、その実態に即し、平日においては、運行間隔を「60分に1本、8時15分～19時05分」から「60～70分程度に1本、8時10分～19時10分」とするようダイヤ改正を実施。

その結果、平日に遅延運行が9割減少し、利用者からの問い合わせも減少。

オ 平成29年4月1日～

愛知医科大学病院バスロータリー完成により乗り入れを開始。これにより運行距離が短縮（西ルート：23.9km 東ルート：23.8km）

バスロータリーに名鉄バスや長久手市、瀬戸市が運行するコミュニティバスが乗り入れていることから、乗り継ぎ利便性が向上。

カ 令和元年10月1日～

平成28年度の見直し後の利用状況や要望等を踏まえ、次のとおりダイヤ改正等を実施。

- ▽遅延解消のため、休日のダイヤを改正するとともに平日のダイヤを微調整。
- ▽利便性向上のため、「本地ヶ原」、「稻葉町南」停留所を新たに設置。

キ 令和3年3月1日～

リフト付き車いす対応車両を導入。事前予約制で車いすに座ったままでのバス利用が可能となった。

- ク 令和5年10月1日～**
利便性向上のため、「大森北」、「東大久手」停留所を新たに設置。
- ケ 令和5年12月29日～令和5年12月31日**
年末の運行に対する要望を踏まえ、年末試験運行を実施。
- コ 令和6年9月2日～**
利用集中に伴う乗りこぼしへ対応するため、印場駅～愛知医大間試験運行を実施。
- サ 令和6年12月29日～令和6年12月31日**
年末の運行に対する要望を踏まえ、引き続き年末試験運行を実施。
- シ 令和7年2月～**
運行状況をリアルタイムに利用者へ提供可能となる、バスロケーションシステムを導入。

3 市営バスの利用状況

(1) 利用者の推移

○ 年間利用者数の推移

単位：人

	年間利用者数	1日あたり 平均利用者数	有料利用者	無料利用者			
				未就学	障がい者	介助者	合計
平成16年度	14,995	157.8	14,409	478	—	108	586
平成17年度	70,540	239.9	67,498	2,682	—	360	3,042
平成18年度	86,793	294.2	84,064	2,492	—	237	2,729
平成19年度	107,263	363.6	103,214	3,739	—	310	4,049
平成20年度	132,653	451.2	119,918	4,320	7,703	712	12,735
平成21年度	135,625	461.3	118,363	3,288	12,813	1,161	17,262
平成22年度	138,273	470.3	119,080	2,718	15,205	1,270	19,193
平成23年度	141,731	480.4	118,025	2,993	18,888	1,825	23,706
平成24年度	148,868	506.4	122,785	3,464	20,616	2,003	26,083
平成25年度	153,553	520.5	124,102	3,015	24,562	1,874	29,451
平成26年度	152,693	519.4	120,949	3,319	26,496	1,929	31,744
平成27年度	157,319	533.3	124,670	4,043	26,569	2,037	32,649
平成28年度	200,168	557.6	162,040	4,436	30,192	3,500	38,128
平成29年度	229,849	640.2	187,204	4,205	34,472	3,968	42,645
平成30年度	236,096	657.6	190,143	4,351	37,911	3,691	45,953
令和元年度	241,878	671.9	194,004	3,281	41,393	3,200	47,874
令和2年度	193,534	539.1	152,641	1,813	36,614	2,466	40,893
令和3年度	202,454	563.9	159,603	1,914	38,203	2,734	42,851
令和4年度	217,943	607.1	174,677	2,067	37,955	3,244	43,266
令和5年度	239,103	658.7	193,494	2,252	39,819	3,538	45,609
令和6年度	251,062	693.5	204,384	2,269	40,778	3,631	46,678

※ 16年度は12月からの4か月間（3ルート、ジャンボタクシーでの運行）

※ 18年度は8月から4ルートでの運行、マイクロバスでの無償運行等を実施

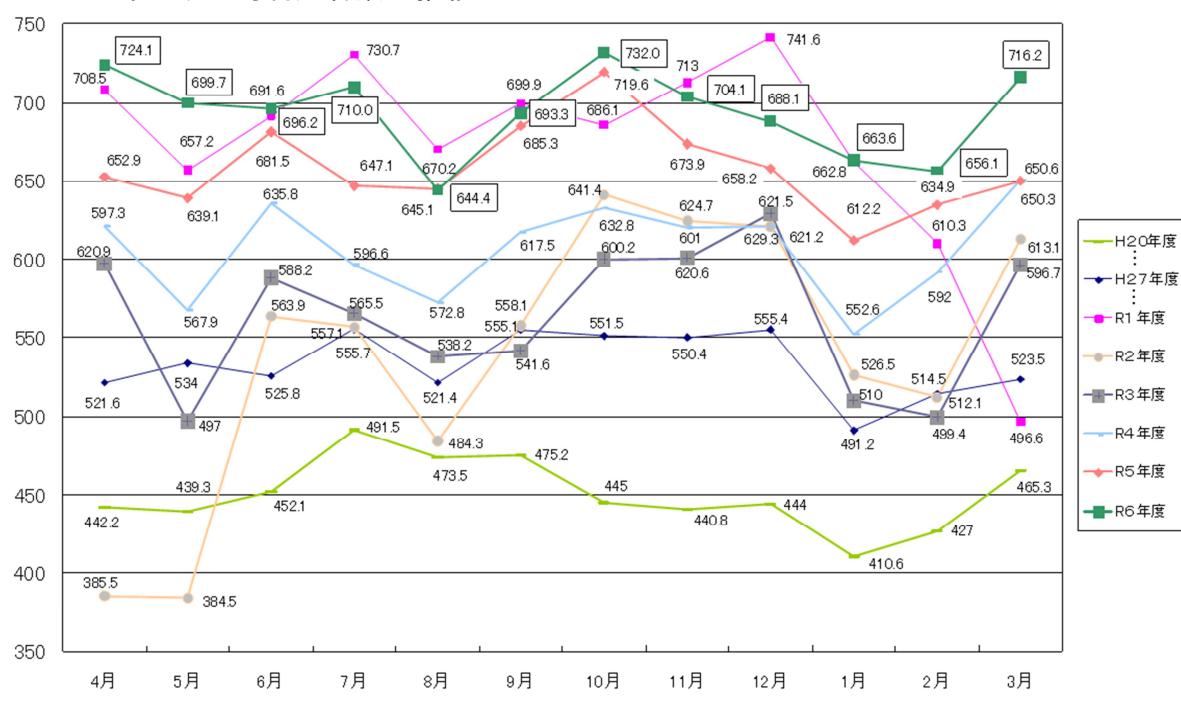
※ 19年度は12月から2台をマイクロバスに変えて運行

※ 20年度は10月から2ルート「双方向ループ方式」に変更して運行

※ 28年度から運行内容変更（運行頻度向上、日祝日運行、定期乗車券導入、2台増車して6台で運行）

○ 1日あたり平均利用者数の推移

単位：人



(2) ルート別利用者数の状況

新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）拡大時から、安全安心に市営バスを利用いただけよう対策を継続実施。また、ウィズコロナの生活様式の定着等により、令和5年度は感染拡大前とほぼ同程度まで利用者数が回復し、令和6年度には過去最高となりました。

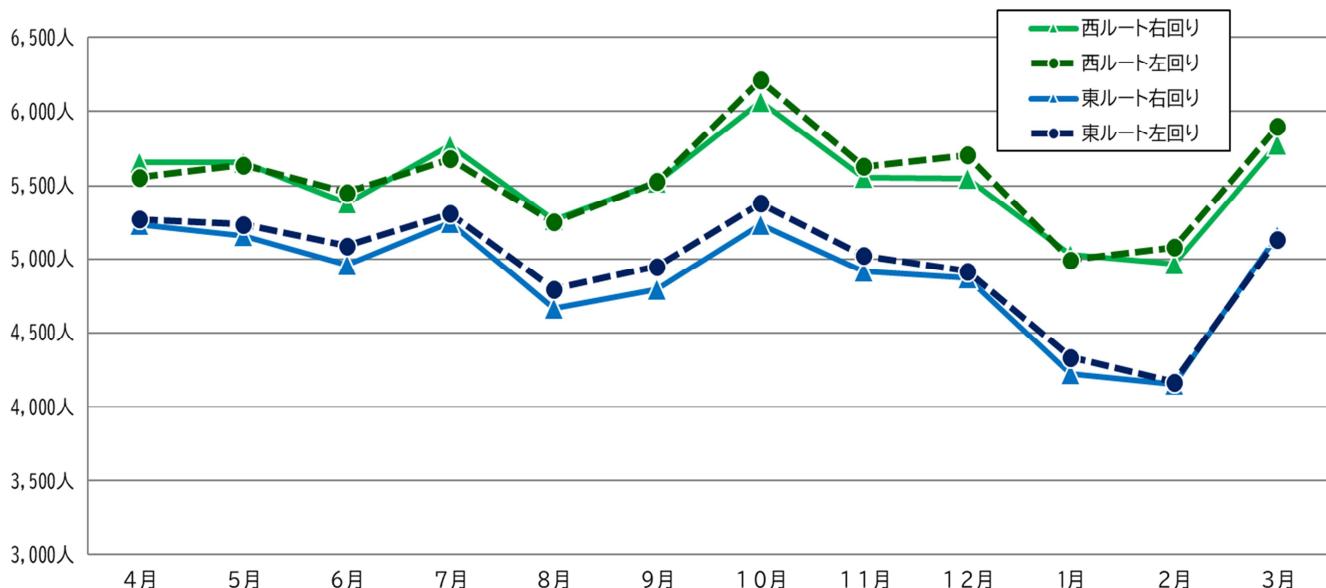
ルート別で見ますと、全体では、各月の利用者数増減は同じような傾向があり、9月から11月にかけて利用者が多くなっています。また、東西両ルートともに年間10万人以上の方に利用をいただきました。

○ ルート別利用者数

単位：人

	西ルート			東ルート			合計	1日あたり 平均利用者数
	右回り	左回り	小計	右回り	左回り	小計		
4月（30日間）	5,658	5,555	11,213	5,238	5,272	10,510	21,723	724
5月（31日間）	5,660	5,641	11,301	5,156	5,235	10,391	21,692	700
6月（30日間）	5,382	5,455	10,837	4,962	5,088	10,050	20,887	696
7月（31日間）	5,772	5,682	11,454	5,245	5,310	10,555	22,009	710
8月（31日間）	5,264	5,254	10,518	4,664	4,794	9,458	19,976	644
9月（30日間）	5,525	5,528	11,053	4,795	4,950	9,745	20,798	693
10月（31日間）	6,067	6,212	12,279	5,238	5,380	10,618	22,897	739
11月（30日間）	5,554	5,631	11,185	4,915	5,023	9,938	21,123	704
12月（31日間）	5,548	5,706	11,254	4,870	4,916	9,786	21,040	679
1月（28日間）	5,030	4,992	10,022	4,224	4,335	8,559	18,581	664
2月（28日間）	4,969	5,081	10,050	4,153	4,169	8,322	18,372	656
3月（31日間）	5,778	5,898	11,676	5,155	5,133	10,288	21,964	709
合計(362日間)	66,207	66,635	132,842	58,615	59,605	118,220	251,062	694

※（ ）内は運行日数

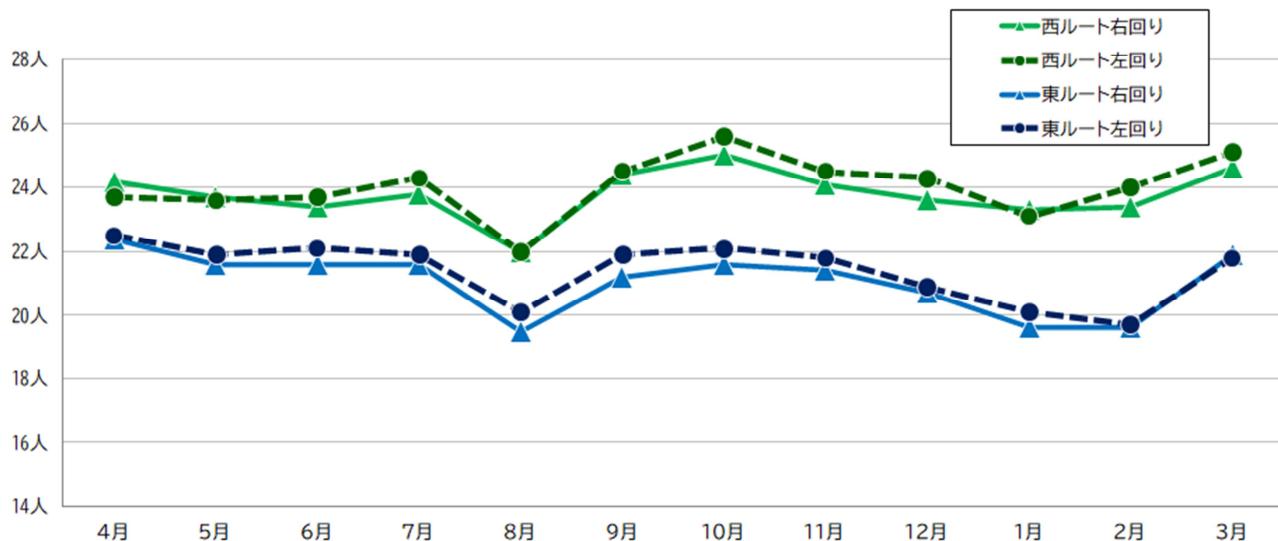


○ 1便あたりの平均利用者数

単位：人

	西ルート		東ルート		令和6年度 (全体)	令和5年度 (全体)
	右回り	左回り	右回り	左回り		
4月	24.2	23.7	22.4	22.5	23.2	21.3
5月	23.7	23.6	21.6	21.9	22.7	21.1
6月	23.4	23.7	21.6	22.1	22.7	21.5
7月	23.8	24.3	21.6	21.9	22.9	21.3
8月	22.0	22.0	19.5	20.1	20.9	20.6
9月	24.4	24.5	21.2	21.9	23.0	22.3
10月	25.0	25.6	21.6	22.1	23.6	23.3
11月	24.1	24.5	21.4	21.8	23.0	22.0
12月	23.6	24.3	20.7	20.9	22.4	23.2
1月	23.3	23.1	19.6	20.1	21.5	19.5
2月	23.4	24.0	19.6	19.7	21.7	20.7
3月	24.6	25.1	21.9	21.8	23.4	21.5
年間	23.8	24.0	21.1	21.4	22.6	21.5

※ 土・休日を含む。



(3) 運行便別利用者の割合（平日）

令和6年4月から令和7年3月までの間における、西ルート及び東ルートの利用者数の運行便別の利用者の割合は、次のとおりとなりました。

各ルートともに第1便の利用者数が多く、右回りについては第2便が、左回りについては第3便の利用者数も多くなっている状況です。なお、第7便以降、時間帯が遅くなるにつれて利用が少なくなる傾向にあります。

	西ルート		東ルート	
	右回り	左回り	右回り	左回り
第1便 (8:10~8:40)	17.5%	18.5%	18.3%	15.7%
第2便 (9:20~10:00)	17.7%	15.8%	17.3%	16.2%
第3便 (10:30~11:00)	14.1%	16.1%	16.2%	15.5%
第4便 (11:40~12:10)	12.9%	13.0%	14.6%	14.1%
第5便 (12:40~13:20)	10.1%	10.9%	10.4%	12.2%
第6便 (13:50~14:20)	7.5%	7.8%	7.6%	9.1%
第7便 (15:00~15:30)	8.7%	8.1%	8.0%	7.1%
第8便 (16:00~16:40)	6.9%	6.1%	4.3%	6.2%
第9便 (17:10~17:40)	4.7%	3.7%	3.2%	3.9%

(4) 運行便別乗降者数の状況（平日ルート別）

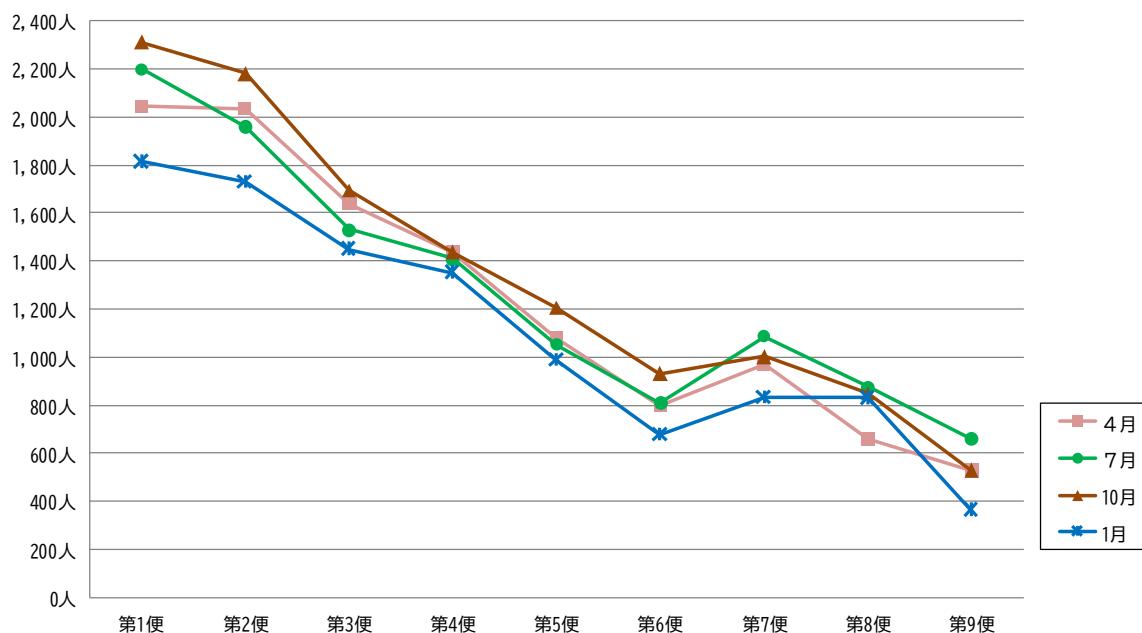
令和6年4月、7月、10月及び令和7年1月における、西ルート及び東ルートの1月あたりの乗降者数を運行便別にそれぞれグラフで示しました。

ア 西ルート（右回り）

西ルート（右回り）では、各月とも第1便と第2便の乗降者数が最も多く、時間が遅くなるにつれ、乗降者数も減少傾向にあります。

なお、利用者の多くが病院への通院、買い物、市役所など公共施設への用事などにバスを利用していることから、第1～2便は目的地に向かうため、第3～5便は帰宅のために利用していると考えられます。

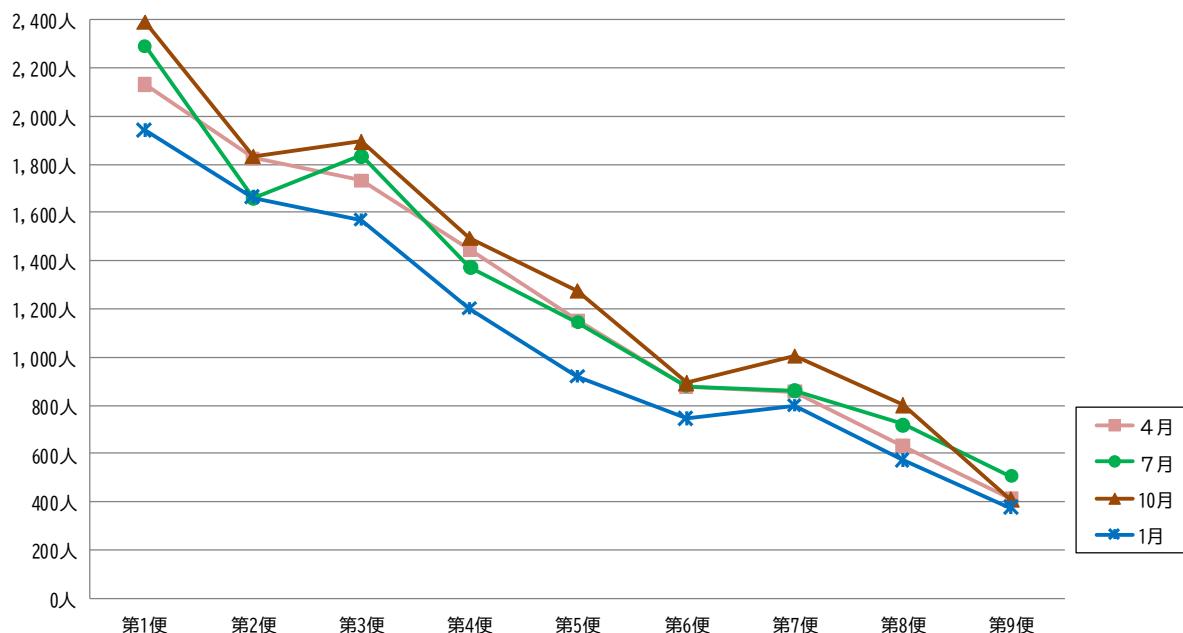
○ 西ルート（右回り）運行便別乗降者数



イ 西ルート（左回り）

西ルート（左回り）では、各月とも第1便の乗降者数が最も多く、「右回り」と同様に、時間が遅くなるにつれ、乗降者数も減少傾向にあります。第1便の乗降者数が一番多い理由として、病院への外来（旭労災病院、愛知医大）や商業施設の開店時間などが要因の一つであると考えられます。

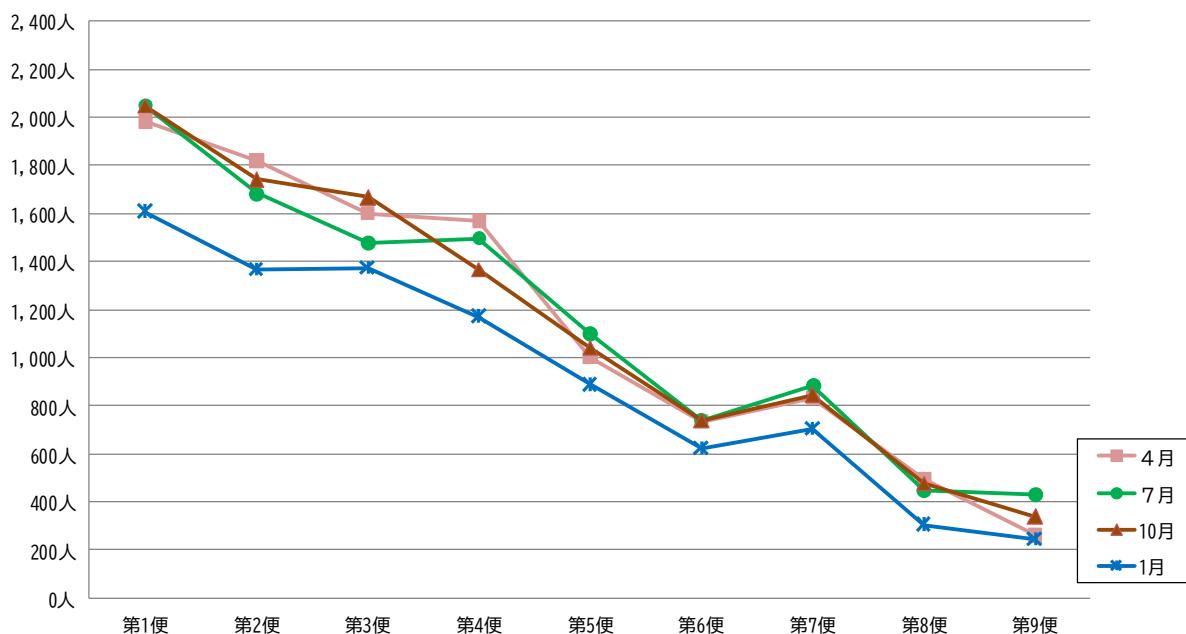
○ 西ルート（左回り）運行便別乗降者数



ウ 東ルート（右回り）

東ルート（右回り）では、各月とも第1便から第3便の乗降者数が多い傾向が見られます。

この第1～3便では「市役所」「愛知医大」のほか、三郷駅やシーナシーナ（旧イトーヨーカドー）の利用者が「三郷駅北」及び「シーナシーナ尾張旭前」停留所で乗降していることが、その要因の一つであると考えられます。

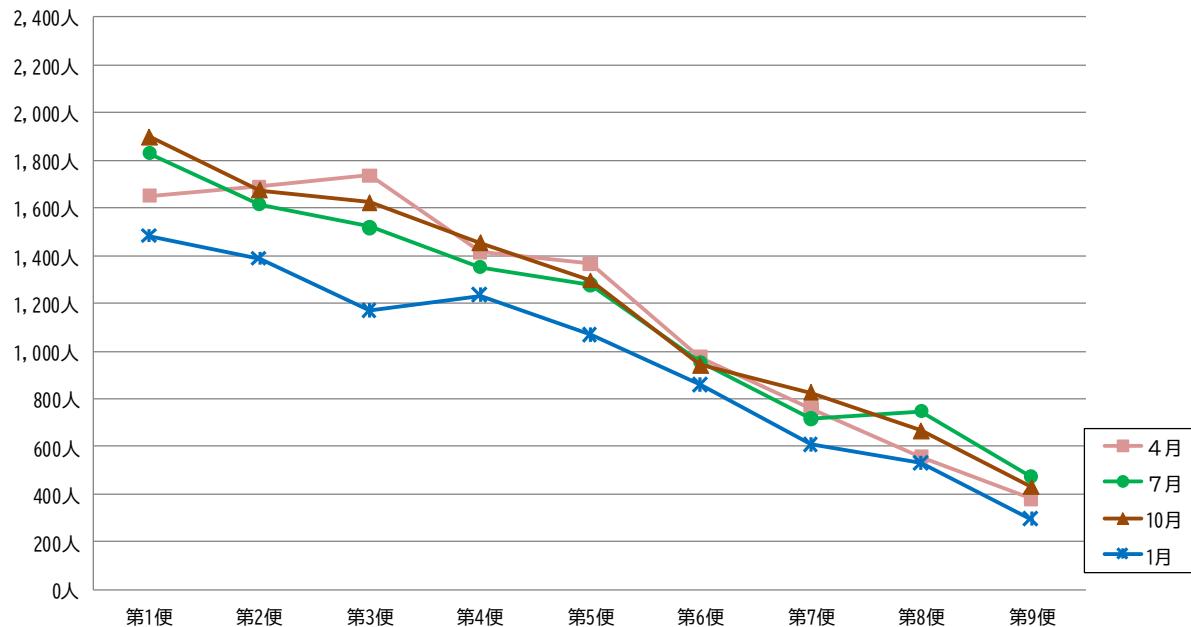


エ 東ルート（左回り）

東ルート（左回り）は、各月とも第1～4便の乗降者数が多く、時期によって異なりますが、他のルートと比べて、第1、2便よりも第3便の乗降者数が多くなっています。

第3便の利用者が多い理由として、シーナシーナ（旧イトーヨーカドー）、やまひこに買い物のために出かける利用者によるものと考えられます。

○ 東ルート（左回り）運行便別乗降者数



(5) 停留所別利用者数の状況

令和6年4月、7月、10月及び令和7年1月における、西ルート及び東ルートの1日あたりの利用者数を、停留所別に乗車・降車に分けて集計し、それぞれグラフで示しました。

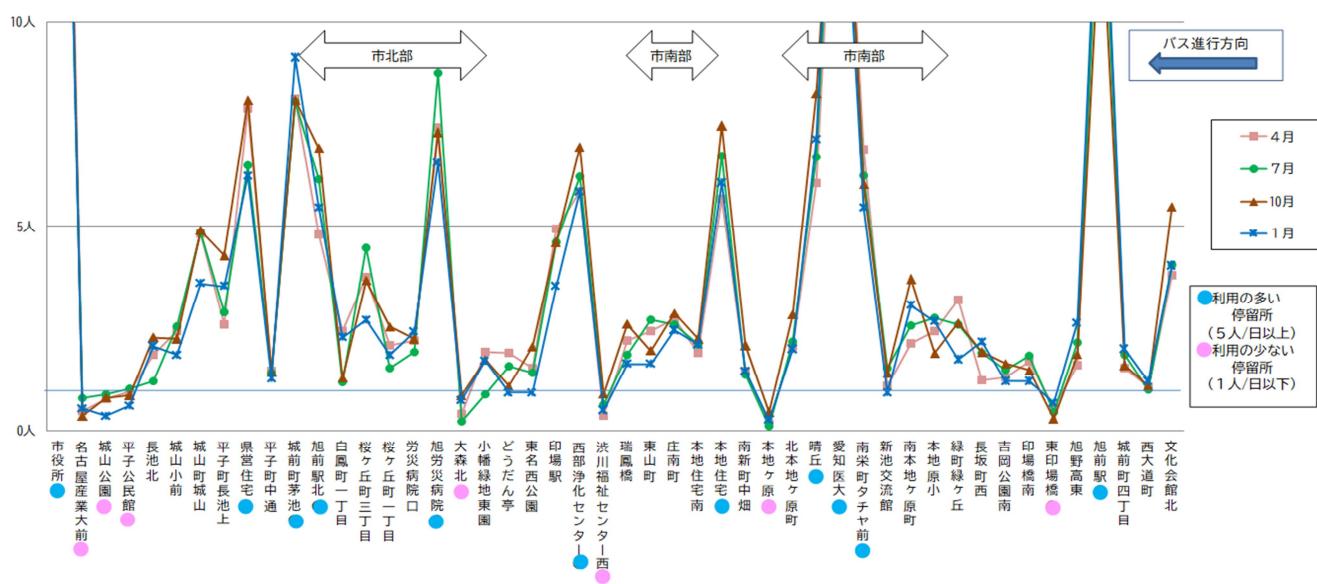
ア 西ルート（右回り）【乗車】

乗車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「県営住宅」「城前町茅池」「旭前駅北」「旭労災病院」「西部浄化センター」「本地住宅」「晴丘」

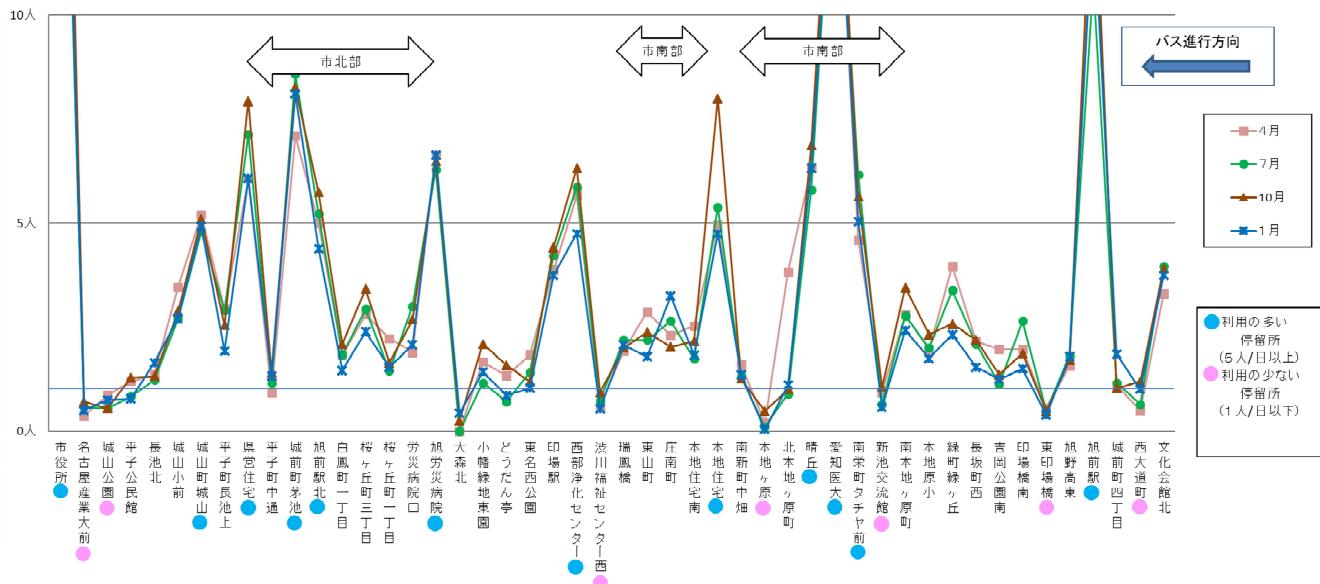
「愛知医大」「南栄町タチヤ前」「旭前駅」となっており、市北部の住宅地での利用数が比較的高い傾向にあります。また、「愛知医大」の利用が特に多い状況です。

一方、乗車の少ない停留所（1人/日未満）は、「名古屋産業大前」「城山公園」「平子公民館」「大森北」「渋川福祉センター西」「本地ヶ原」「東印場橋」となってています。

月別の利用状況には、それほど大きな差異は見られませんが、市南部での利用数が少ない傾向にあります。



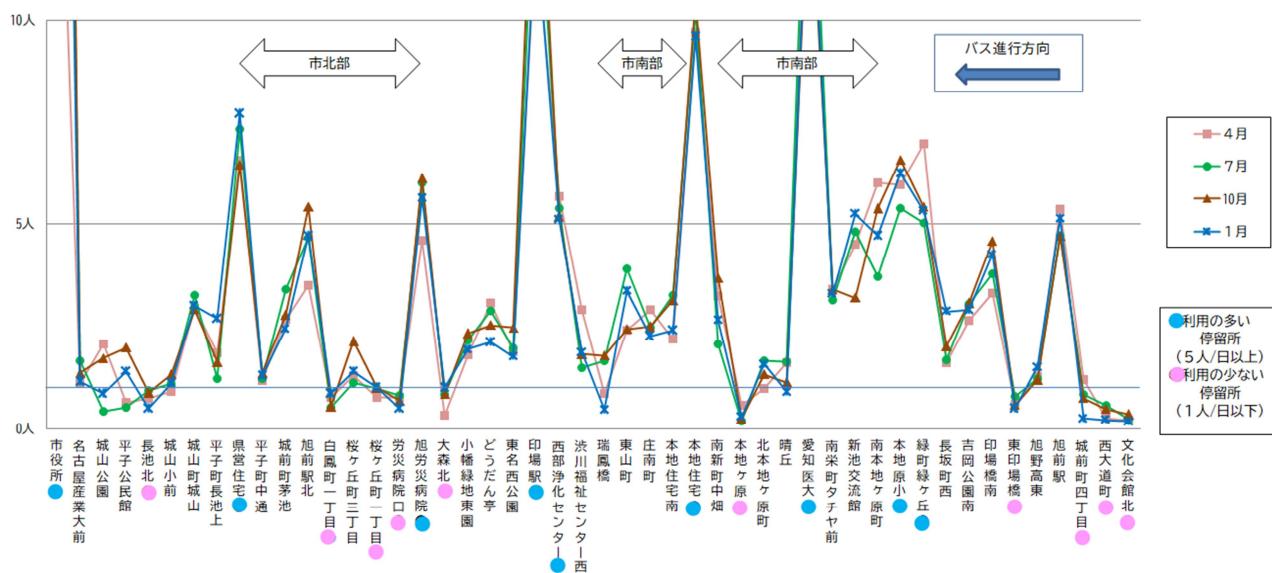
参考 令和5年度西ルート右回り利用状況【乗車】



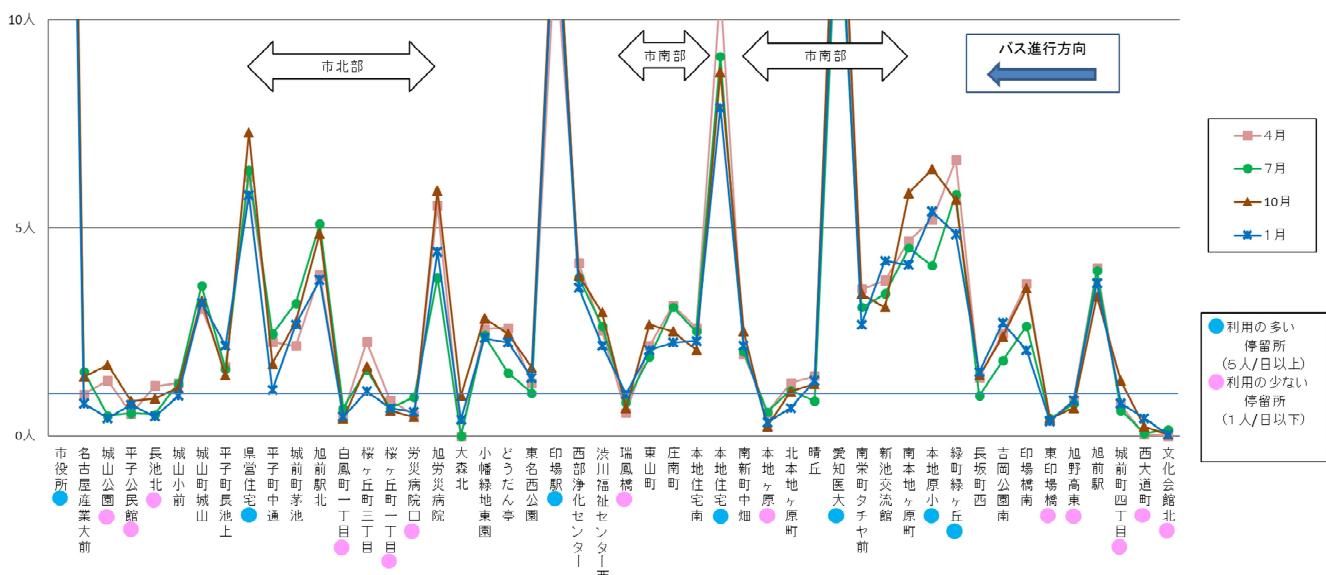
イ 西ルート（右回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「県営住宅」「旭労災病院」「印場駅」「西部浄化センター」「本地住宅」「愛知医大」「本地原小」「緑町緑ヶ丘」となっており、乗車と比較し、市南部での利用数が比較的高い傾向にあります。また、「市役所」「印場駅」「本地住宅」での降車が多く、乗り継ぎとして利用されています。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「長池北」「白鳳町一丁目」「桜ヶ丘町一丁目」「労災病院口」「大森北」「本地ヶ原」「東印場橋」「城前町四丁目」「西大道町」「文化会館北」となっており、乗車と比較し、市北部での利用数が少ない傾向にあります。



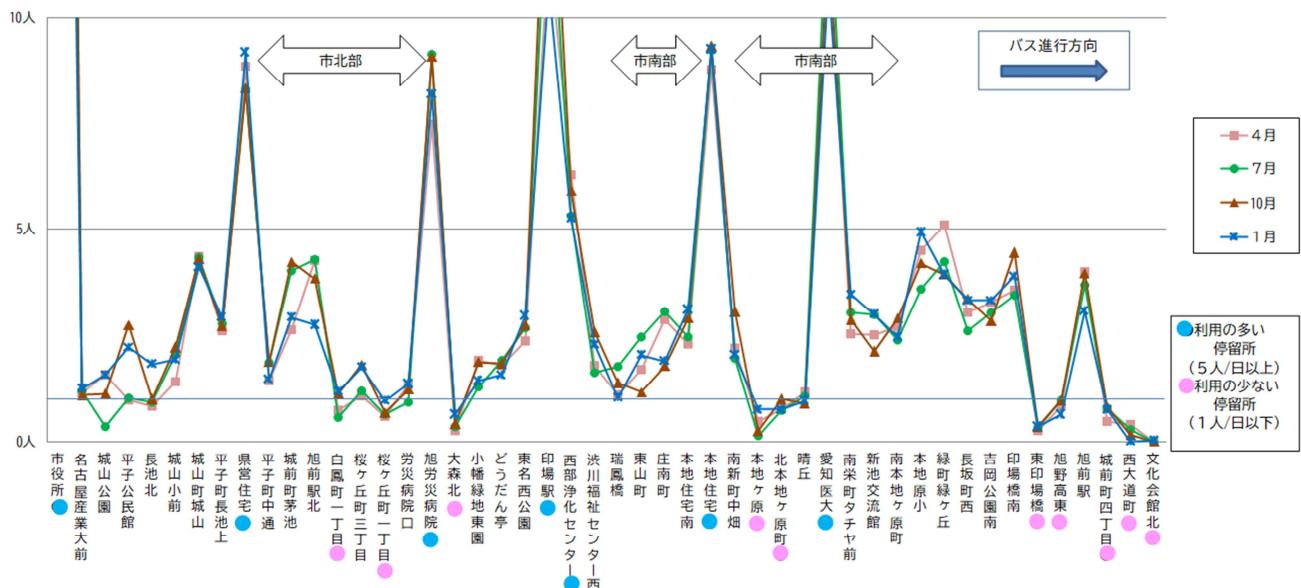
参考 令和5年度西ルート右回り利用状況【降車】



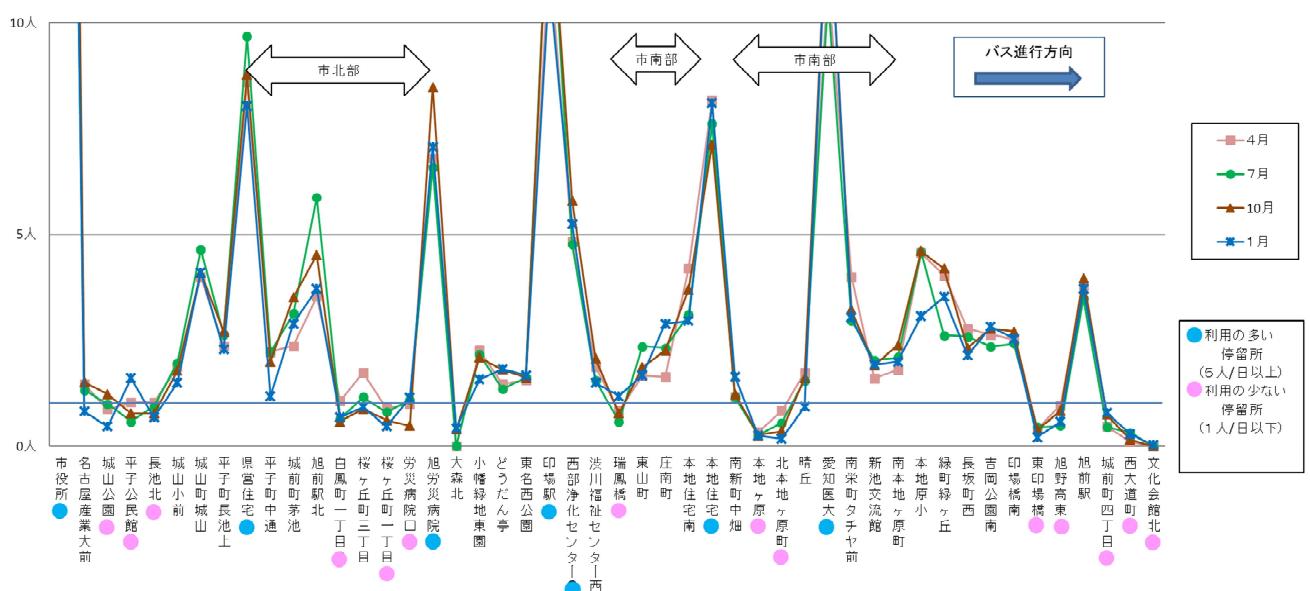
ウ 西ルート（左回り）【乗車】

乗車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「県営住宅」「旭労災病院」「印場駅」「西部浄化センター」「本地住宅」「愛知医大」となっており、右回りと比較し、市北部の住宅地での利用数がやや少なく、「印場駅」「本地住宅」は右回りと同様に乗り継ぎとして利用されている状況にあります。

一方、乗車の少ない停留所（1人/日未満）は、「白鳳町一丁目」「桜ヶ丘町一丁目」「大森北」「本地ヶ原」「北本地ヶ原町」「東印場橋」「旭野高東」「城前町四丁目」「西大道町」「文化会館北」となっています。



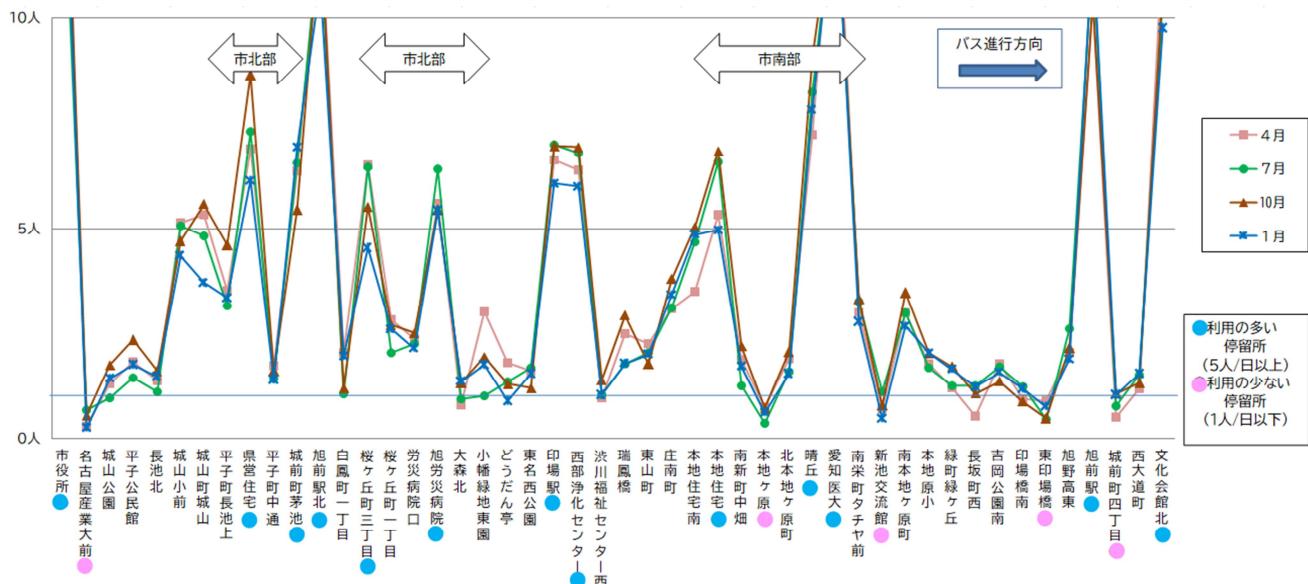
参考 令和5年度西ルート左回り利用状況【乗車】



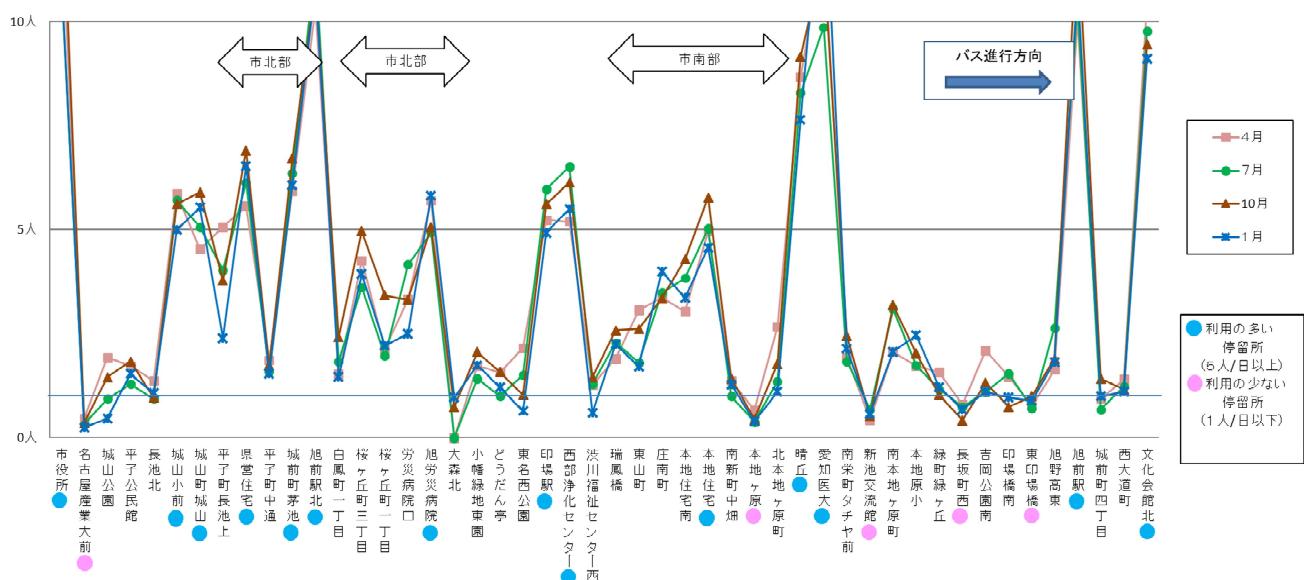
エ 西ルート（左回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「県営住宅」「城前町茅池」「旭前駅北」「旭前駅北」「桜ヶ丘町三丁目」「旭労災病院」「印場駅」「西部浄化センター」「本地住宅」「晴丘」「愛知医大」「旭前駅」「文化会館北」となっており、右回りの乗車と類似した傾向が見られます。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「名古屋産業大前」「本地ヶ原」「新池交流館」「東印場橋」「城前町四丁目」となっています。



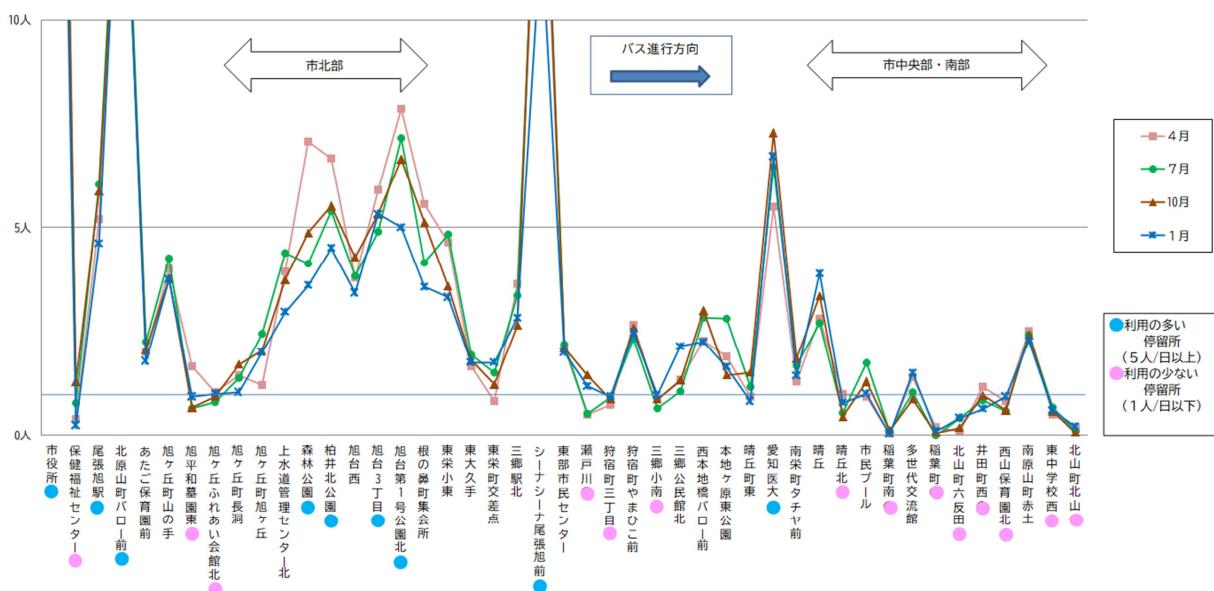
参考 令和5年度西ルート左回り利用状況【降車】



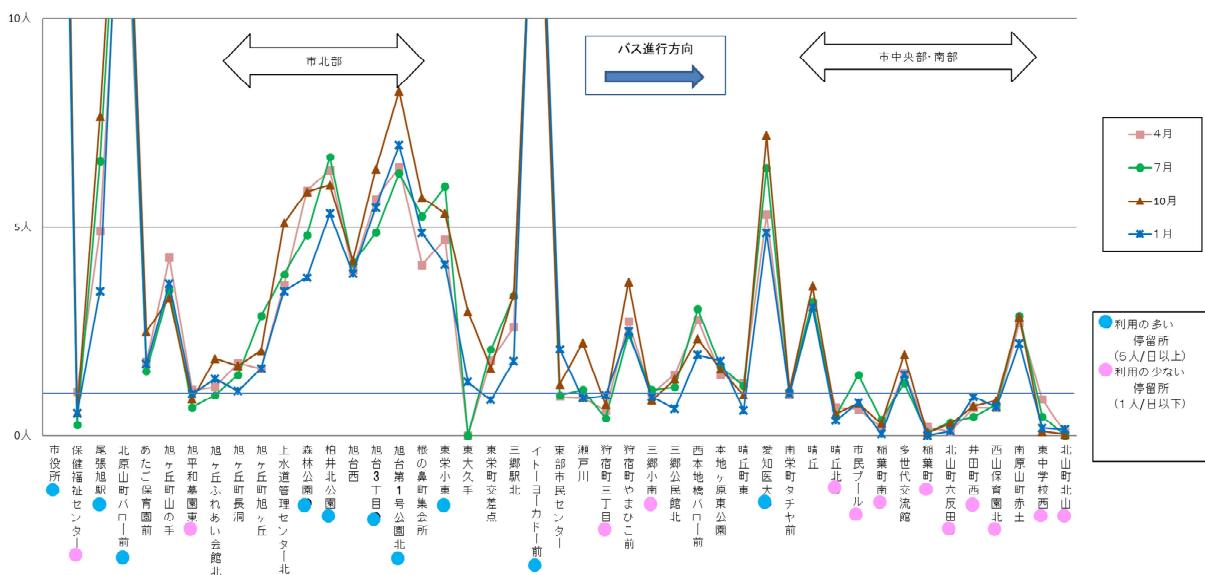
オ 東ルート（右回り）【乗車】

乗車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「尾張旭駅」「北原山町バロ一前」「森林公園」「柏井北公園」「旭台3丁目」「旭台第1号公園北」「シーナシーナ尾張旭前」「愛知医大」となっており、市北部の住宅地での利用数が比較的高い傾向にあります。

一方、乗車の少ない停留所（1人/日未満）は、「保健福祉センター」「旭平和墓園東」「旭ヶ丘ふれあい会館北」「瀬戸川」「狩宿町三丁目」「三郷小南」「晴丘北」「稲葉町南」「井田町西」「西山保育園北」「東中学校西」「北山町北山」となっており、市中央部や南部での利用数が少ない傾向にあります。



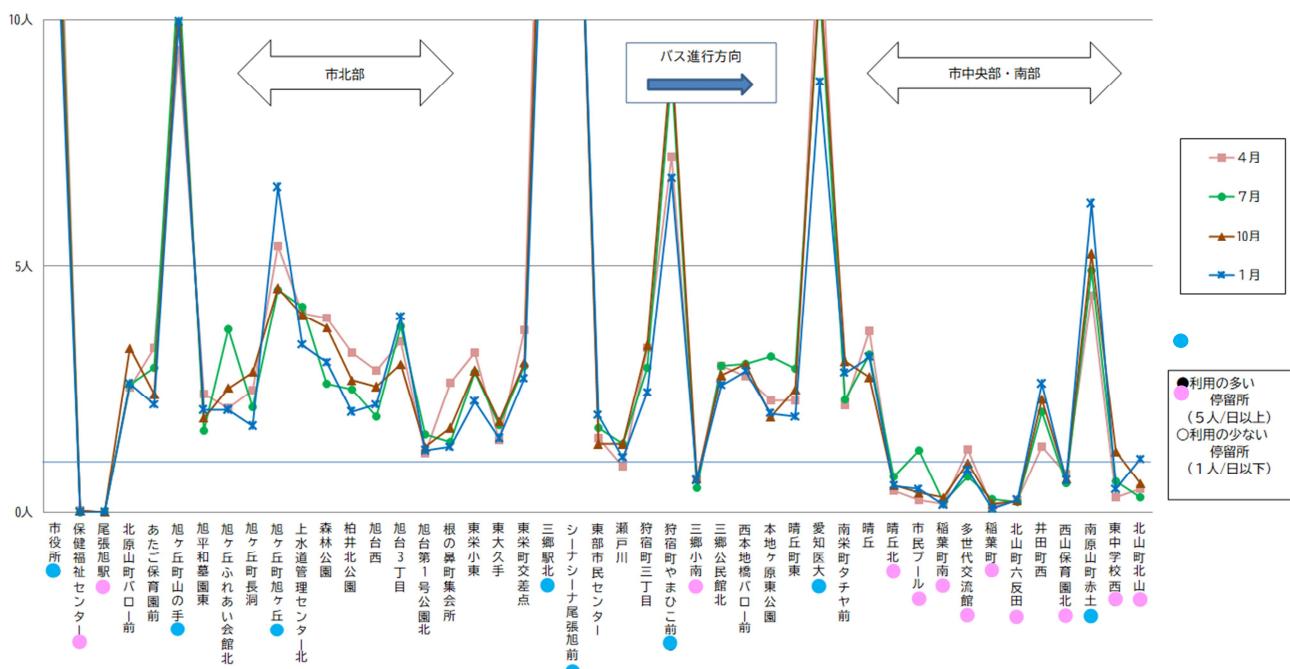
参考 令和5年度東ルート右回り利用状況【乗車】



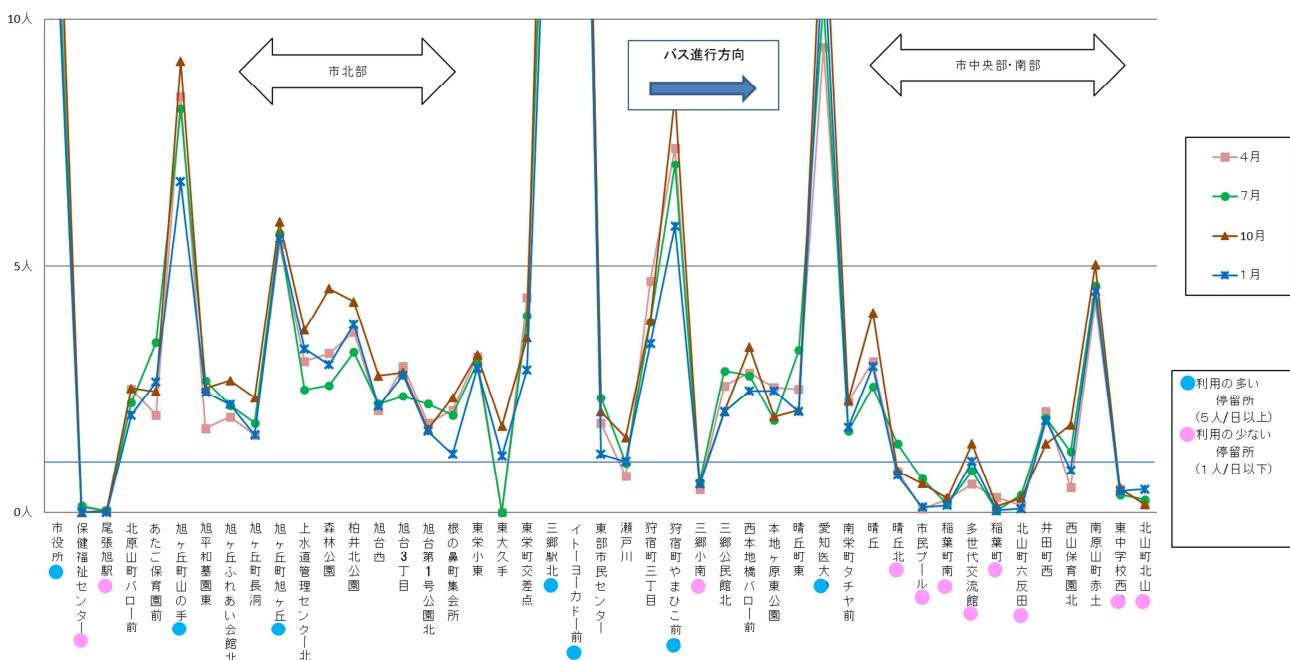
力 東ルート（右回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「旭ヶ丘町山の手」「旭ヶ丘町旭ヶ丘」「三郷駅北」「シーナシーナ尾張旭前」「狩宿町やまひこ前」「愛知医大」「南原山町赤土」となっており、特に「シーナシーナ尾張旭前」と三郷駅に近接する「三郷駅北」は利用が多い状況にあります。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「保健福祉センター」「尾張旭駅」「三郷小南」「晴丘北」「市民プール」「稲葉町南」「多世代交流館」「稲葉町」「北山町六反田」「東中学校西」「北山町北山」となっており、乗車と同様、市中央部や南部での利用数が少ない傾向にあります。



参考 令和5年度東ルート右回り利用状況【降車】

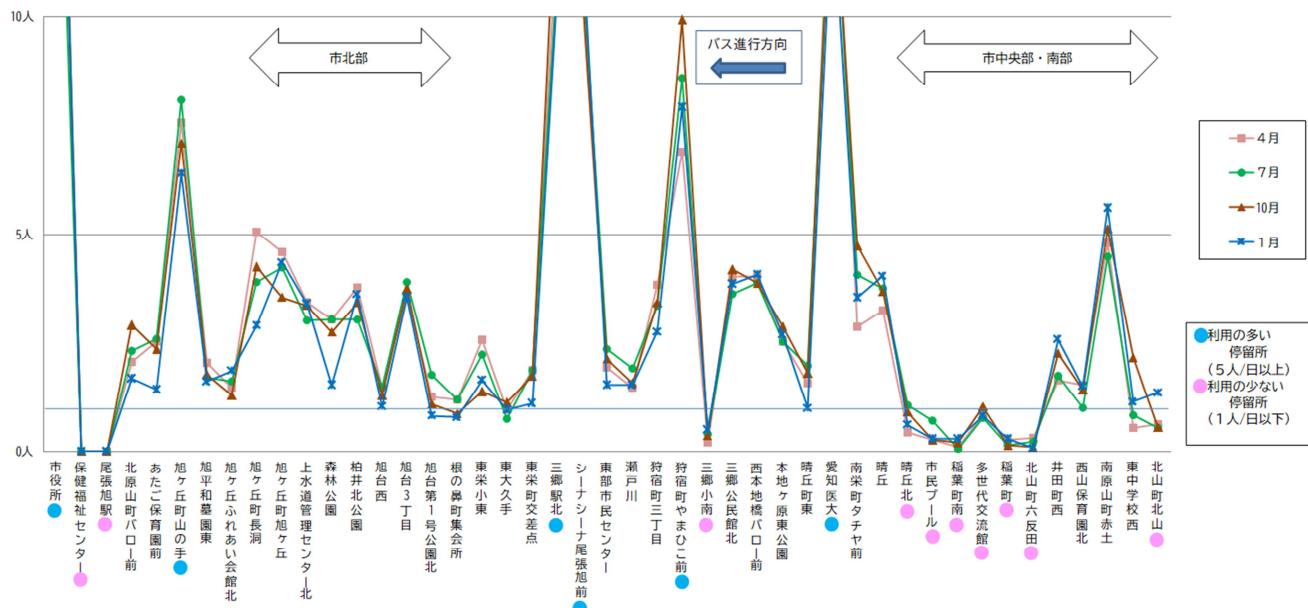


キ 東ルート（左回り）【乗車】

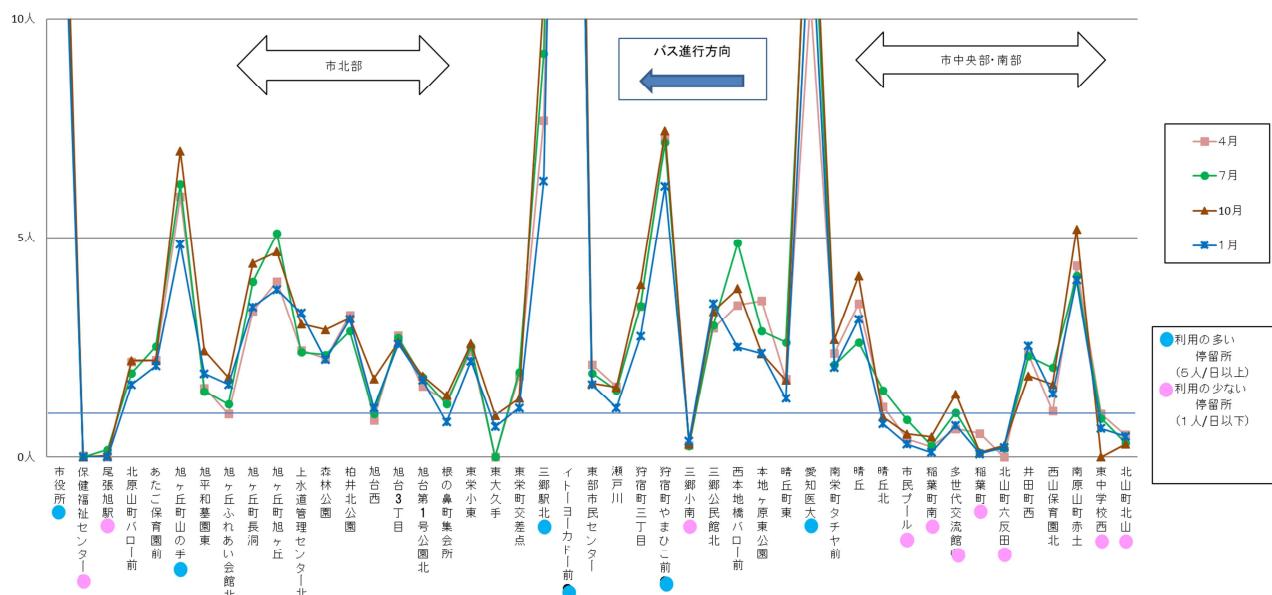
乗車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「旭ヶ丘町山の手」「三郷駅北」「シーナシーナ尾張旭前」「狩宿町やまひこ前」「愛知医大」となっており、右回りの降車と同様、「シーナシーナ尾張旭前」と三郷駅に近接する「三郷駅北」は利用が多い状況にあります。

一方、乗車の少ない停留所（1人/日未満）は、「保健福祉センター」「尾張旭駅」「三郷小南」「晴丘北」「市民プール」「稲葉町南」「多世代交流館」

「稲葉町」「北山町六反田」「北山町北山」となっており、こちらも市中央部や南部での利用数が少ない傾向にあります。



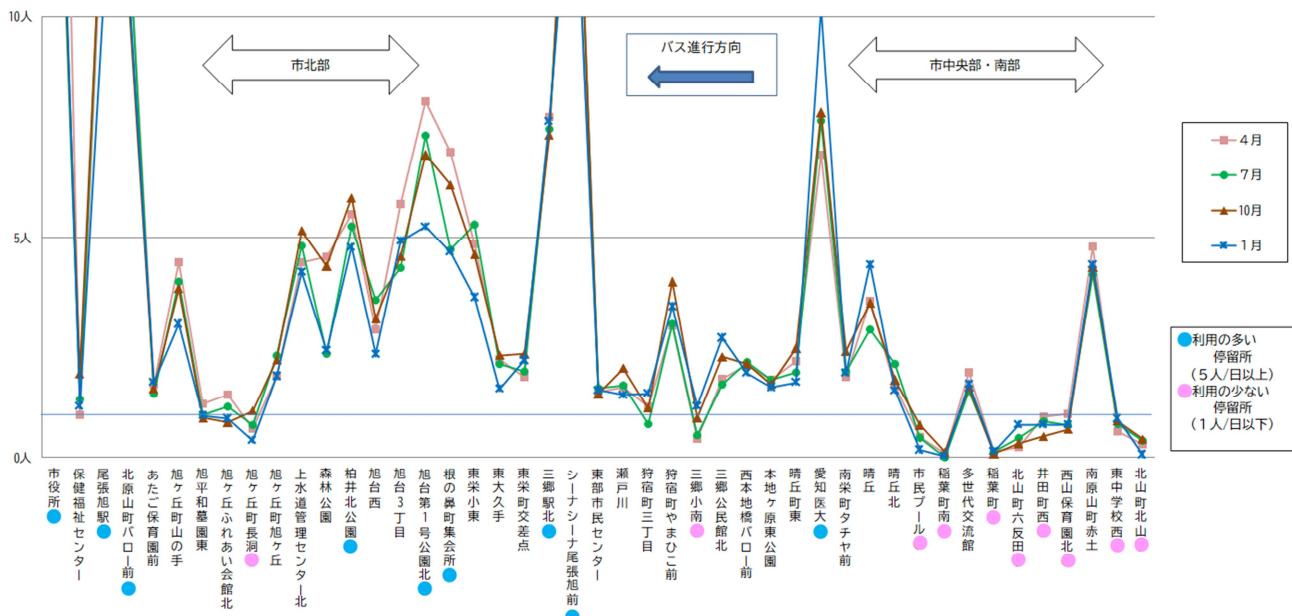
参考 令和5年度東ルート左回り利用状況【乗車】



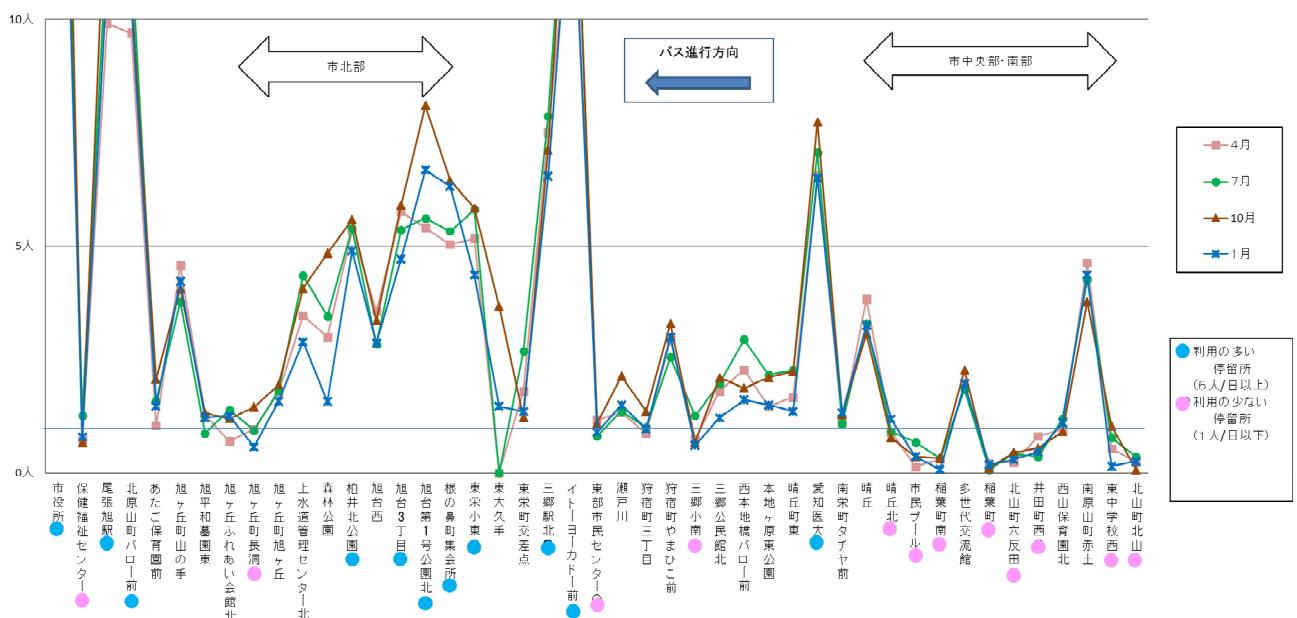
ク 東ルート（左回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「尾張旭駅」「北原山町バロー前」「柏井北公園」「旭台第1号公園北」「根の鼻町集会所」「三郷駅北」「シーナシーナ尾張旭前」「愛知医大」となっています。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「旭ヶ丘町長洞」「三郷小南」「市民プール」「稲葉町南」「稲葉町」「北山町六反田」「井田町西」「西山保育園北」「東中学校西」「北山町北山」となっており、やはり市中央部や南部での利用数が少ない傾向にあります。



参考 令和5年度東ルート左回り利用状況【降車】



以上の結果により、西ルート及び東ルートの右回り及び左回りの乗車、降車とともに、その利用状況は、北部地域での利用者数が多く、中央部地域や南部地域での利用者数が比較的少ない状況にあります。

令和5年4月～令和6年3月の利用状況と令和6年4月～令和7年3月までの利用状況を比較すると、全体で利用者数は増えており、新型コロナ感染拡大による影響から脱したといえます。

▽ 住宅地における停留所の利用については、城山町、平子町、旭ヶ丘町、旭台といった市北部の丘陵地域にある住宅地に加え、南本地ヶ原、緑町緑ヶ丘、本地住宅といった南部での利用が多いのに対し、井田町、瀬戸川町、北山町といった市中央部の住宅地や稻葉町では少数にとどまっています。

市北部及び南部の住宅地から鉄道駅や商業施設のある市中央部へ向かうため、あさぴ一号が利用されていることが分かります。

▽ 「市役所」停留所は、最も利用者数が多い停留所となっています。ここでは、東西ルートの起終点となっており、市役所、体育館などの施設や尾張旭駅に隣接していることが多い理由と考えられます。

▽ 「本地住宅」停留所は、平成28年度の運行内容変更に合わせ、名古屋市営バス本地ヶ原住宅ターミナル内に停留所を移設したことから、主に藤が丘方面への乗継ぎとして利用されていることが考えられます。

▽ 「旭労災病院」や「愛知医大」などの病院に隣接した停留所の利用は、乗車、降車とともに多く、これらの停留所は、通院などに市営バスを利用する人にとって重要な停留所となっています。

▽ シーナシーナ尾張旭の施設内にある「シーナシーナ尾張旭前」の利用者数も「右回り」「左回り」とともに多く、こちらも重要な停留所となっています。

▽ 市中央部の停留所については、西ルートの「東印場橋」や「西大道町」、「東ルートの「稻葉町」や「北山町六反田」のように利用が少ない箇所もあるものの、西ルートの「文化会館北」停留所は「右回り」の「乗車」と「左回り」の「降車」の利用が多い傾向にあります。ここでは、商業施設であるアスカでの買い物のために利用されていると考えられます。

(6) ルート別の停留所利用の状況

令和6年4月から令和7年3月までの間の、各ルートにおける停留所の利用状況（1日あたり平均利用者数）の結果は次のとおりとなりました。

○ 西ルート（右回り）

順位	停留所	乗車
1	市役所	27.4
2	愛知医大	16.4
3	旭前駅	14.0
4	城前町茅池	8.4
5	旭労災病院	7.3
6	県営住宅	7.3
7	晴丘	6.7
8	本地住宅	6.2
9	南栄町タチヤ前	6.1
10	西部浄化センター	6.0
11	旭前駅北	5.8
12	城山町城山	4.7
13	印場駅	4.4
14	文化会館北	4.2
15	桜ヶ丘町三丁目	3.6
16	平子町長池上	3.4
17	南本地ヶ原町	3.1
18	庄南町	2.6
19	城山小前	2.6
20	緑町緑ヶ丘	2.5
21	本地原小	2.4
22	瑞鳳橋	2.3
23	北本地ヶ原町	2.2
24	本地住宅南	2.2
25	労災病院口	2.2
26	長坂町西	2.0
27	桜ヶ丘町一丁目	1.9
28	東山町	1.9
29	旭野高東	1.9
30	城前町四丁目	1.7
31	長池北	1.6
32	印場橋南	1.6
33	白鳳町一丁目	1.6
34	小幡緑地東園	1.6
35	南新町中畠	1.4
36	平子町中通	1.4
37	どうだん亭	1.4
38	東名西公園	1.4
39	吉岡公園南	1.3
40	新池交流館	1.0
41	西大道町	1.0
42	平子公民館	1.0
43	城山公園	0.7
44	大森北	0.7
45	名古屋産業大前	0.6
46	渋川福祉センター西	0.5
47	東印場橋	0.5
48	本地ヶ原	0.2

順位	停留所	降車
1	市役所	40.2
2	愛知医大	14.5
3	印場駅	13.2
4	本地住宅	9.8
5	県営住宅	7.1
6	本地原小	6.3
7	旭労災病院	5.8
8	西部浄化センター	5.3
9	緑町緑ヶ丘	5.2
10	南本地ヶ原町	4.8
11	旭前駅	4.7
12	新池交流館	4.3
13	旭前駅北	4.2
14	印場橋南	4.1
15	南栄町タチヤ前	3.3
16	城山町城山	3.1
17	吉岡公園南	2.8
18	東山町	2.8
19	城前町茅池	2.7
20	南新町中畠	2.6
21	庄南町	2.4
22	本地住宅南	2.4
23	どうだん亭	2.3
24	東名西公園	2.0
25	長坂町西	2.0
26	渋川福祉センター西	1.9
27	小幡緑地東園	1.9
28	平子町長池上	1.8
29	桜ヶ丘町三丁目	1.5
30	北本地ヶ原町	1.4
31	瑞鳳橋	1.3
32	旭野高東	1.3
33	平子公民館	1.2
34	晴丘	1.2
35	平子町中通	1.2
36	城山小前	1.2
37	名古屋産業大前	1.1
38	城前町四丁目	0.9
39	桜ヶ丘町一丁目	0.9
40	城山公園	0.9
41	大森北	0.9
42	長池北	0.8
43	労災病院口	0.7
44	白鳳町一丁目	0.6
45	東印場橋	0.5
46	西大道町	0.4
47	本地ヶ原	0.3
48	文化会館北	0.2

○ 西ルート（左回り）

順位	停留所	乗車
1	市役所	44.8
2	印場駅	12.6
3	愛知医大	12.0
4	本地住宅	9.5
5	県営住宅	8.5
6	旭労災病院	8.3
7	西部浄化センター	5.7
8	本地原小	4.4
9	城山町城山	4.1
10	緑町緑ヶ丘	4.0
11	印場橋南	3.9
12	旭前駅北	3.7
13	城前町茅池	3.5
14	旭前駅	3.3
15	吉岡公園南	3.1
16	南栄町タチヤ前	3.1
17	長坂町西	2.9
18	東名西公園	2.8
19	本地住宅南	2.8
20	南本地ヶ原町	2.8
21	平子町長池上	2.7
22	庄南町	2.4
23	新池交流館	2.3
24	南新町中畠	2.1
25	渋川福祉センター西	2.1
26	城山小前	1.9
27	東山町	1.8
28	平子公民館	1.8
29	平子町中通	1.7
30	どうだん亭	1.6
31	小幡緑地東園	1.6
32	桜ヶ丘町三丁目	1.4
33	瑞鳳橋	1.2
34	労災病院口	1.1
35	名古屋産業大前	1.1
36	晴丘	1.0
37	城山公園	1.0
38	長池北	1.0
39	北本地ヶ原町	0.9
40	城前町四丁目	0.8
41	白鳳町一丁目	0.8
42	旭野高東	0.7
43	桜ヶ丘町一丁目	0.6
44	大森北	0.4
45	本地ヶ原	0.3
46	東印場橋	0.3
47	西大道町	0.2
48	文化会館北	0.0

順位	停留所	降車
1	市役所	15.2
2	愛知医大	13.5
3	旭前駅北	11.4
4	文化会館北	11.0
5	旭前駅	10.5
6	晴丘	7.8
7	県営住宅	7.2
8	西部浄化センター	6.4
9	城前町茅池	6.4
10	印場駅	6.4
11	旭労災病院	5.7
12	本地住宅	5.7
13	桜ヶ丘町三丁目	5.5
14	城山小前	4.9
15	城山町城山	4.8
16	本地住宅南	4.4
17	平子町長池上	3.6
18	庄南町	3.4
19	南本地ヶ原町	3.2
20	南栄町タチヤ前	3.2
21	瑞鳳橋	2.5
22	桜ヶ丘町一丁目	2.3
23	労災病院口	2.3
24	本地原小	2.1
25	旭野高東	2.0
26	東山町	1.9
27	小幡緑地東園	1.8
28	平子公民館	1.8
29	北本地ヶ原町	1.8
30	南新町中畠	1.7
31	どうだん亭	1.5
32	平子町中通	1.4
33	吉岡公園南	1.4
34	東名西公園	1.4
35	白鳳町一丁目	1.4
36	城山公園	1.4
37	西大道町	1.4
38	長池北	1.3
39	緑町緑ヶ丘	1.3
40	大森北	1.3
41	印場橋南	1.1
42	渋川福祉センター西	1.0
43	長坂町西	1.0
44	城前町四丁目	0.9
45	新池交流館	0.7
46	東印場橋	0.6
47	本地ヶ原	0.6
48	名古屋産業大前	0.4

○ 東ルート（右回り）

順位	停留所	乗車
1	市役所	33.9
2	北原山町バロー前	16.6
3	シーナシーナ尾張旭前	14.8
4	旭台第1号公園北	6.5
5	愛知医大	6.2
6	旭台3丁目	5.4
7	柏井北公園	5.2
8	尾張旭駅	5.1
9	森林公园	4.5
10	根の鼻町集会所	4.3
11	東栄小東	4.0
12	旭ヶ丘町山の手	4.0
13	旭台西	3.8
14	上水道管理センター北	3.5
15	晴丘	3.1
16	三郷駅北	3.1
17	狩宿町やまひこ前	3.0
18	南原山町赤土	2.6
19	西本地橋バロー前	2.6
20	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.0
21	あたご保育園前	2.0
22	東大久手	1.9
23	東部市民センター	1.9
24	本地ヶ原東公園	1.7
25	三郷公民館北	1.6
26	旭ヶ丘町長洞	1.4
27	南栄町タチヤ前	1.4
28	東栄町交差点	1.3
29	多世代交流館	1.2
30	市民プール	1.0
31	晴丘町東	1.0
32	旭ヶ丘ふれあい会館北	1.0
33	旭平和墓園東	1.0
34	瀬戸川	0.9
35	三郷小南	0.9
36	井田町西	0.8
37	西山保育園北	0.8
38	狩宿町三丁目	0.8
39	晴丘北	0.7
40	保健福祉センター	0.6
41	東中学校西	0.5
42	北山町六反田	0.3
43	稻葉町南	0.1
44	稻葉町	0.1
45	北山町北山	0.1

順位	停留所	降車
1	シーナシーナ尾張旭前	22.0
2	三郷駅北	17.9
3	市役所	13.6
4	愛知医大	10.5
5	旭ヶ丘町山の手	10.4
6	狩宿町やまひこ前	8.0
7	旭ヶ丘町旭ヶ丘	5.3
8	南原山町赤土	5.1
9	上水道管理センター北	4.0
10	旭台3丁目	3.5
11	森林公园	3.2
12	晴丘	3.1
13	東栄町交差点	3.1
14	西本地橋バロー前	2.9
15	南栄町タチヤ前	2.8
16	北原山町バロー前	2.8
17	狩宿町三丁目	2.7
18	あたご保育園前	2.6
19	柏井北公園	2.6
20	三郷公民館北	2.6
21	旭ヶ丘ふれあい会館北	2.5
22	東栄小東	2.5
23	晴丘町東	2.4
24	旭台西	2.2
25	本地ヶ原東公園	2.1
26	旭平和墓園東	2.1
27	旭ヶ丘町長洞	2.1
28	井田町西	1.9
29	東大久手	1.8
30	根の鼻町集会所	1.5
31	東部市民センター	1.5
32	旭台第1号公園北	1.3
33	瀬戸川	1.0
34	多世代交流館	0.9
35	西山保育園北	0.7
36	三郷小南	0.6
37	東中学校西	0.6
38	北山町北山	0.6
39	晴丘北	0.6
40	市民プール	0.5
41	稻葉町南	0.3
42	北山町六反田	0.2
43	稻葉町	0.1
44	保健福祉センター	0.0
45	尾張旭駅	0.0

○ 東ルート（左回り）

順位	停留所	乗車
1	シーナシーナ尾張旭前	28.5
2	市役所	19.5
3	愛知医大	13.4
4	三郷駅北	11.5
5	狩宿町やまひこ前	8.1
6	旭ヶ丘町山の手	7.2
7	南原山町赤土	4.9
8	旭ヶ丘町旭ヶ丘	4.3
9	西本地橋バロー前	3.8
10	晴丘	3.8
11	南栄町タチヤ前	3.8
12	旭ヶ丘町長洞	3.7
13	旭台3丁目	3.7
14	三郷公民館北	3.6
15	上水道管理センター北	3.5
16	柏井北公園	3.5
17	狩宿町三丁目	3.2
18	本地ヶ原東公園	2.6
19	森林公园	2.5
20	北原山町バロー前	2.3
21	あたご保育園前	2.2
22	井田町西	2.0
23	旭平和墓園東	1.9
24	東栄小東	1.8
25	東部市民センター	1.7
26	旭ヶ丘ふれあい会館北	1.7
27	晴丘町東	1.7
28	瀬戸川	1.6
29	東栄町交差点	1.5
30	旭台西	1.4
31	旭台第1号公園北	1.2
32	西山保育園北	1.2
33	根の鼻町集会所	1.1
34	東大久手	1.0
35	東中学校西	1.0
36	多世代交流館	0.8
37	晴丘北	0.7
38	北山町北山	0.7
39	三郷小南	0.5
40	市民プール	0.3
41	稻葉町	0.2
42	稻葉町南	0.2
43	北山町六反田	0.1
44	尾張旭駅	0.0
45	保健福祉センター	0.0

順位	停留所	降車
1	市役所	24.3
2	シーナシーナ尾張旭前	14.8
3	尾張旭駅	12.9
4	北原山町バロー前	11.4
5	愛知医大	7.6
6	三郷駅北	7.4
7	旭台第1号公園北	6.6
8	根の鼻町集会所	5.2
9	柏井北公園	5.1
10	旭台3丁目	4.7
11	東栄小東	4.7
12	上水道管理センター北	4.3
13	南原山町赤土	4.2
14	旭ヶ丘町山の手	3.7
15	狩宿町やまひこ前	3.7
16	晴丘	3.5
17	森林公园	3.1
18	旭台西	3.0
19	晴丘町東	2.0
20	三郷公民館北	2.0
21	西本地橋バロー前	2.0
22	東大久手	1.9
23	旭ヶ丘町旭ヶ丘	1.9
24	東栄町交差点	1.9
25	南栄町タチヤ前	1.9
26	瀬戸川	1.8
27	晴丘北	1.6
28	多世代交流館	1.5
29	あたご保育園前	1.5
30	本地ヶ原東公園	1.5
31	東部市民センター	1.4
32	旭平和墓園東	1.2
33	保健福祉センター	1.1
34	狩宿町三丁目	1.0
35	旭ヶ丘ふれあい会館北	1.0
36	三郷小南	0.8
37	西山保育園北	0.8
38	井田町西	0.7
39	東中学校西	0.7
40	旭ヶ丘町長洞	0.7
41	北山町六反田	0.6
42	市民プール	0.4
43	北山町北山	0.2
44	稻葉町	0.1
45	稻葉町南	0.1

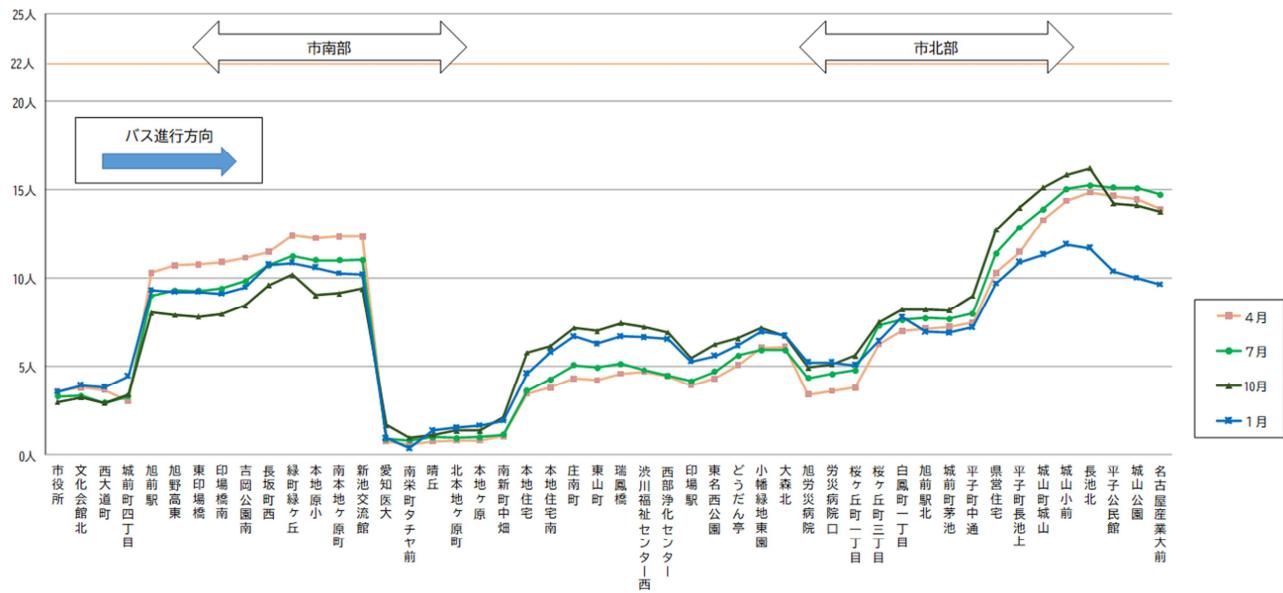
(7) 平日第1便のバス車内平均乗車人員の状況

令和6年4月、7月、10月及び令和7年1月における、西ルート及び東ルートの便別利用者数が多い平日第1便の平均乗車人員を、それぞれグラフで示しました。なお、グラフの数値はバスが各停留所を発車した際のバス車内の平均乗車人員を表し、赤線はバス車両の定員（西ルートは22人、東ルートは26人）を表しています。

ア 西ルート（右回り）

「県営住宅」～「市役所」間で平均乗車人員が多くなっており、市北部の住宅地から「市役所」への利用が多い傾向にあります。

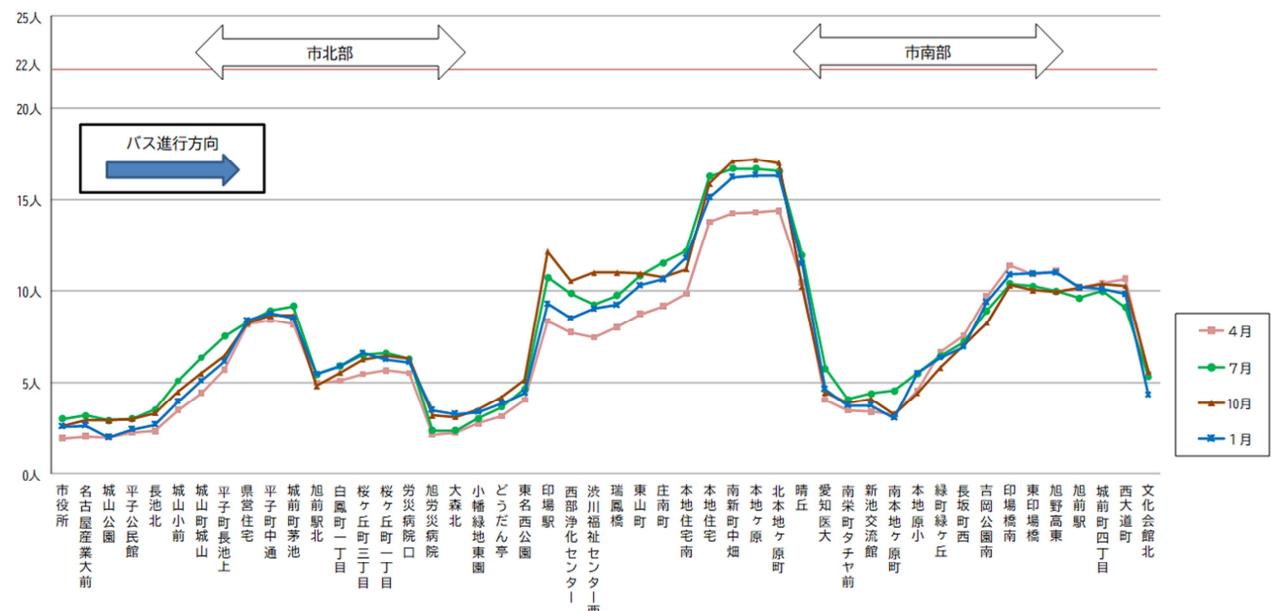
平日第1便のバス車内平均乗車人員<西ルート(右回り)>



イ 西ルート（左回り）

「本地住宅」～「愛知医大」間で平均乗車数が15名以上となっており、乗りこぼしが発生する可能性が高くなっています。

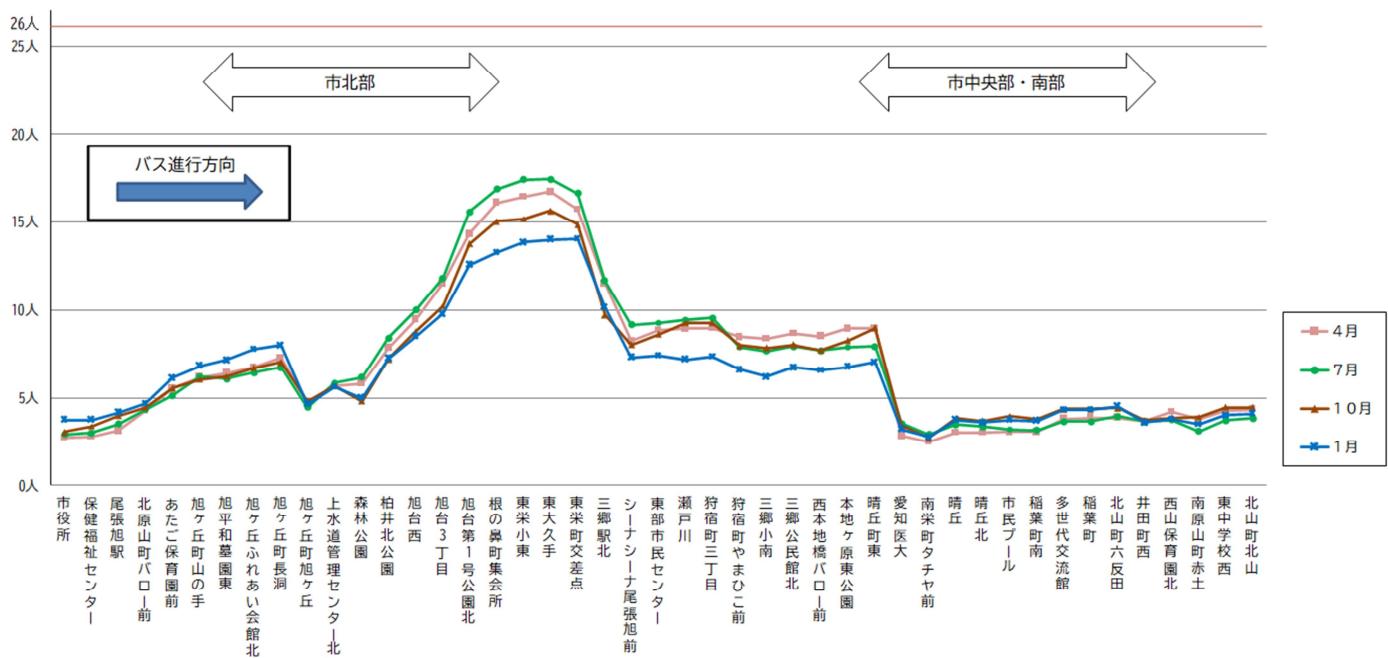
平日第1便のバス車内平均乗車人員<西ルート(左回り)>



ウ 東ルート（右回り）

「柏井北公園」～「シーナシーナ尾張旭前」間で平均乗車人員が多くなっており、市北部の住宅地から「三郷駅北」や「シーナシーナ尾張旭前」「愛知医大」への利用が多い傾向にあります。市中央部・南部での利用は活発ではありません。

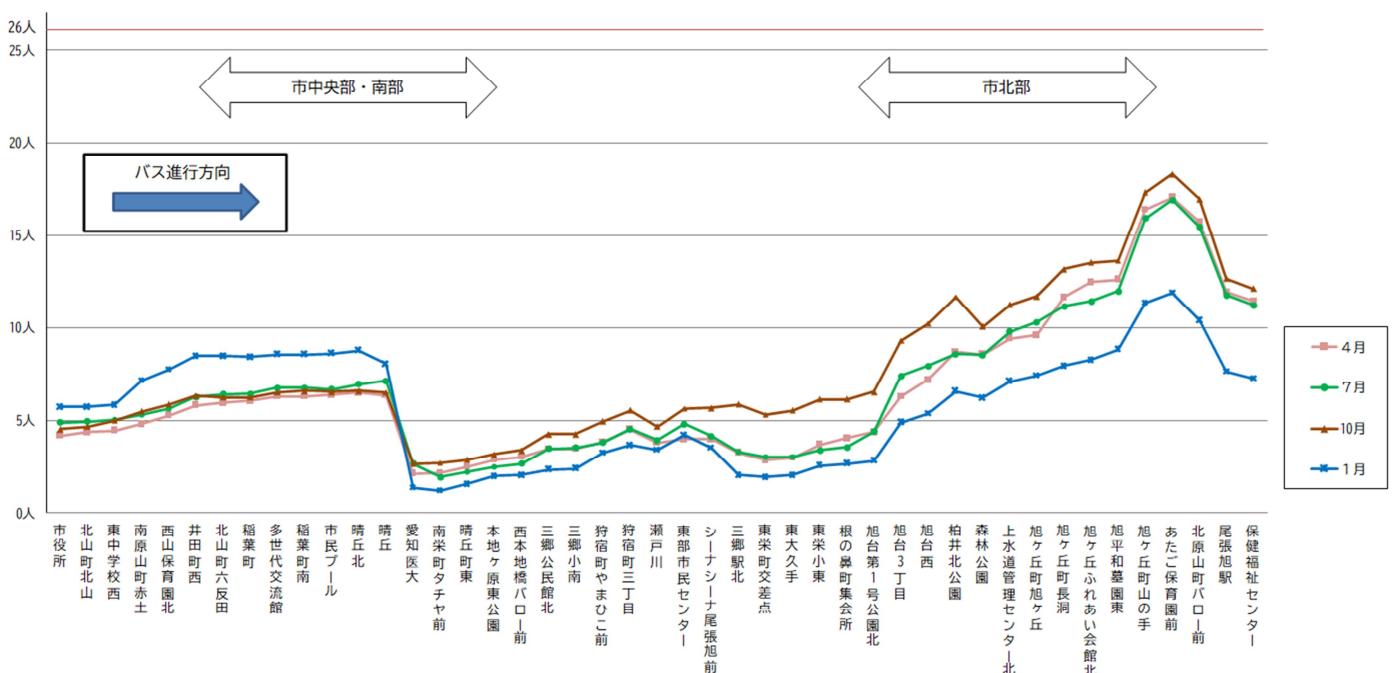
平日第1便のバス車内平均乗車人員<東ルート(右回り)>



エ 東ルート（左回り）

「旭ヶ丘町山の手」～「尾張旭駅」間で平均乗車人員が多くなっており、市北部の住宅地から「北原山町バロー前」「尾張旭駅」「市役所」への利用が多い傾向にあります。

平日第1便のバス車内平均乗車人員<東ルート(左回り)



以上の結果により、西ルート及び東ルートの便別利用者数が多い平日第1便においては、北部地域から市中央部や主要な病院までの区間や、南西部地域から愛知医大までの区間で乗車人員が多い状況にあります。

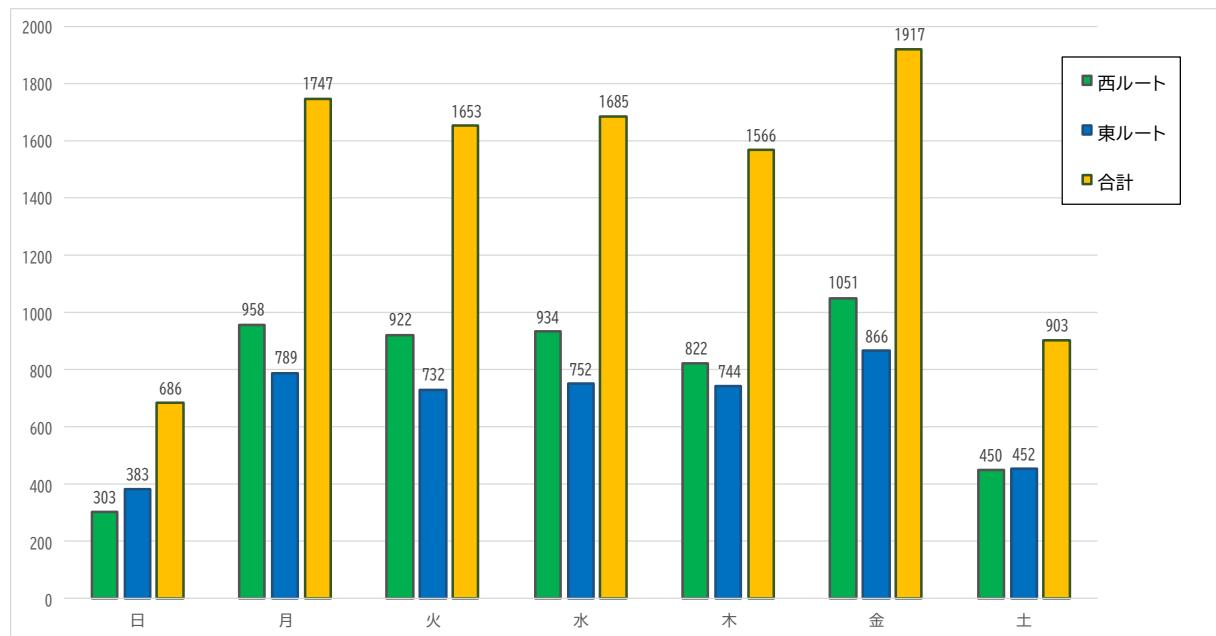
- ▽ どのルートにおいても北部地域の住宅地における停留所から多くの利用者が乗車し、徐々に平均乗車人員が多くなっています。
- ▽ 「市役所」「尾張旭駅」「旭前駅北」「旭労災病院」「愛知医大」「三郷駅北」「シーナシーナ尾張旭前」などの停留所で多くの利用者が降車し、各停留所を過ぎてからは平均乗車人員が少なくなっています。
- ▽ 新型コロナの影響による利用者の減少に伴い、一時期は平均乗車人員が低下したものの、利用者の回復により、西ルートでは、右回りの「県営住宅」～「市役所」間や左回りの「本地住宅」～「愛知医大」間で、東ルートでは、右回りの「旭台3丁目」～「三郷駅北」間での平均乗車人員が10人を超えており、時期によっては15人を超える状況になっています。
- ▽ 新型コロナの影響から利用者が回復し、全体的に平均乗車人員が増加しました。また、前年度と比較してグラフの形状にほぼ変化がないことから、前年度同様の利用傾向であることが分かります。

(8) 曜日別平均利用者数の状況

令和7年3月の1か月間の曜日別の平均利用者数をグラフで示しました。

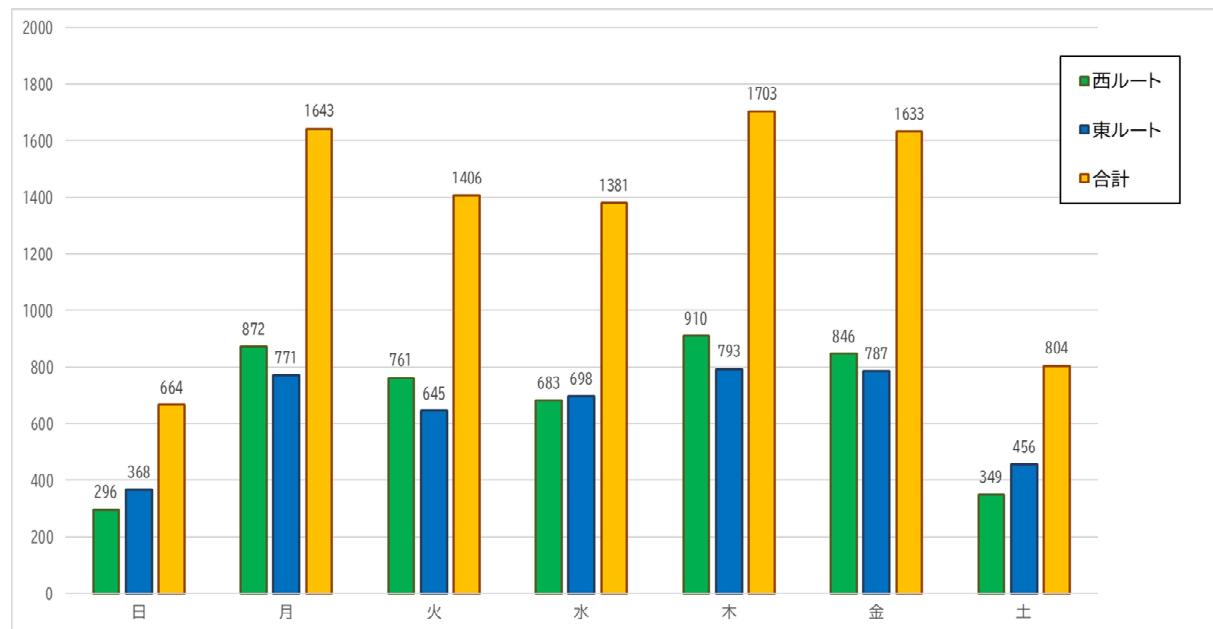
曜日による差が若干あるものの、おおむね利用者は増加しており、新型コロナ拡大前の利用状況に戻りつつあることが伺えます。

【令和7年3月】



※西ルート、東ルートの乗降車の合計値にて作成

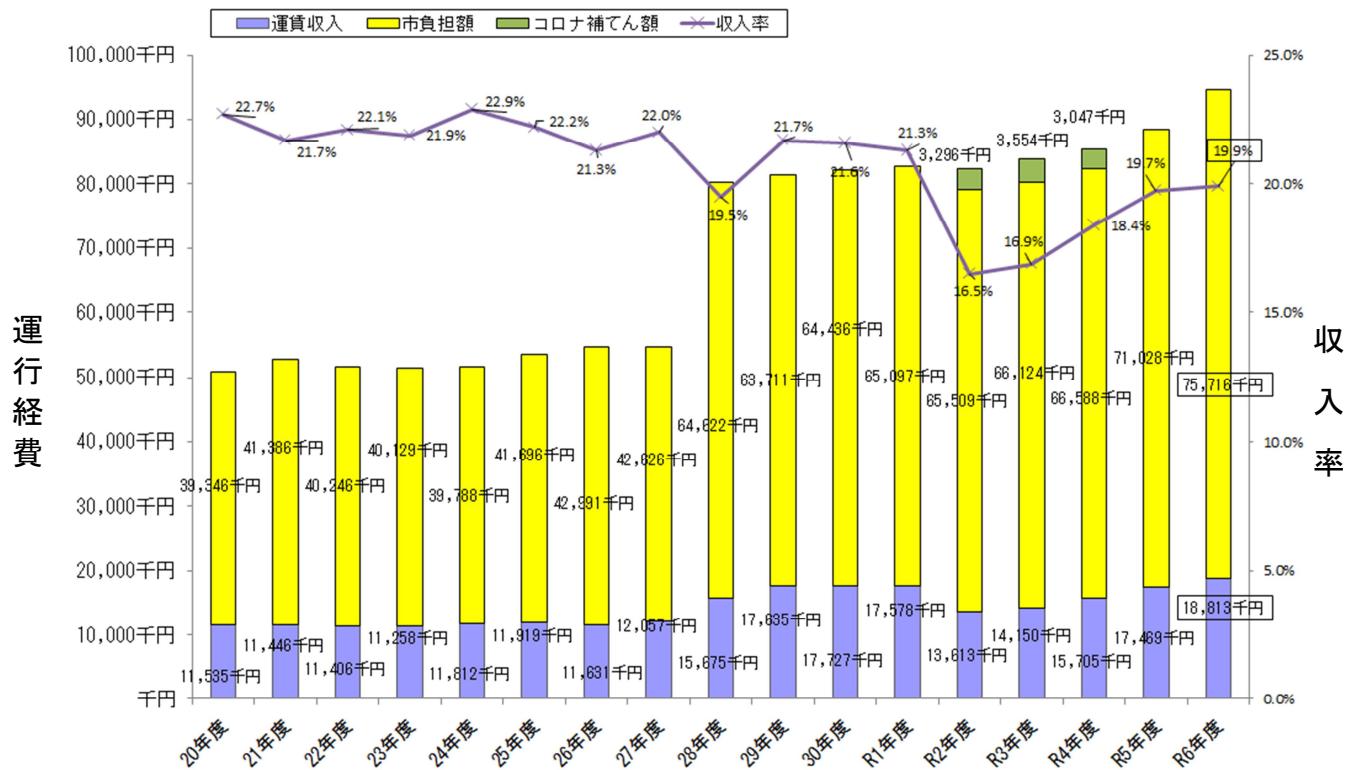
参考 【令和6年3月】



4 市営バスの運行経費の状況

(1) 市営バスの運行経費の状況

平成21年度以降、収入率においては22%前後を推移していました。平成28年度に運行内容を変更し、運行本数等が増加したことから、収入率が20%を切りましたが、平成29年度以降は利用者が増加し、収入率が21%以上で推移していました。新型コロナの影響で収入率が大きく落ち込んだ年もありましたが、その後は上昇傾向でした。令和6年度は、昨年度とほぼ同等の19.9%となりました。



- ※ 平成16年度は12月からの4か月間（3ルート、ジャンボタクシーでの運行）
- ※ 平成18年度は8月から4ルートでの運行、マイクロバスでの無償運行等を実施
- ※ 平成19年度は12月から2台をマイクロバスに変えて運行
- ※ 平成20年度は10月から2ルート循環型に変更して運行
- ※ 平成20年度からは、指定管理者制度を導入。また障がい者本人の運賃を無料化
- ※ 市負担額に平成23年度からは東ルート、平成29年度からは西ルート運行経費に対する国庫補助を含む
- ※ 令和2年度～4年度は新型コロナに起因した利用料金減収負担分（コロナ補てん額）を計上

参考 利用者一人あたりの運行経費推移

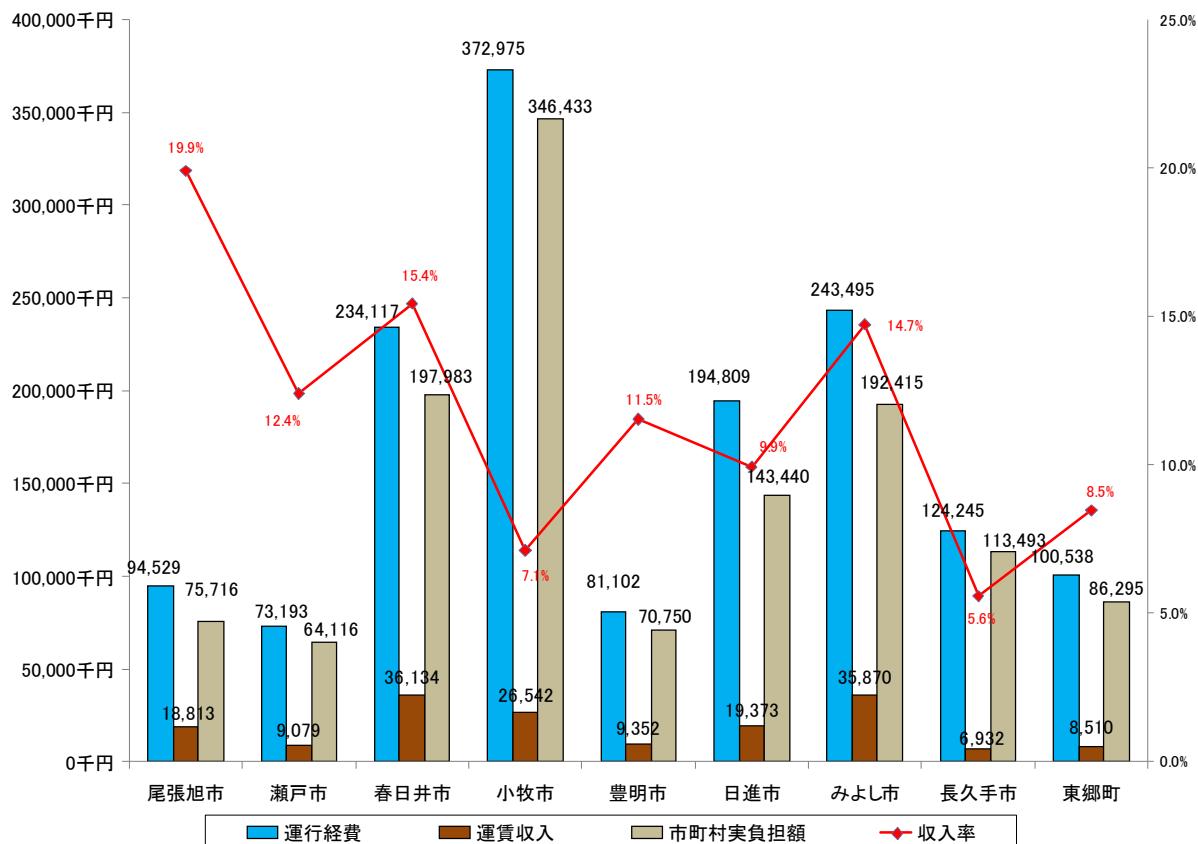
単位：人、円

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
利用者数	132,653	135,625	138,273	141,731	148,868	153,553	152,693
利用者一人あたりの運行経費	384	390	374	363	347	349	358
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数	236,096	241,878	193,534	202,454	217,943	239,103	251,062
利用者一人あたりの運行経費	348	341	425	414	392	370	377

(2) 近隣市町のコミュニティバス運行経費等の状況

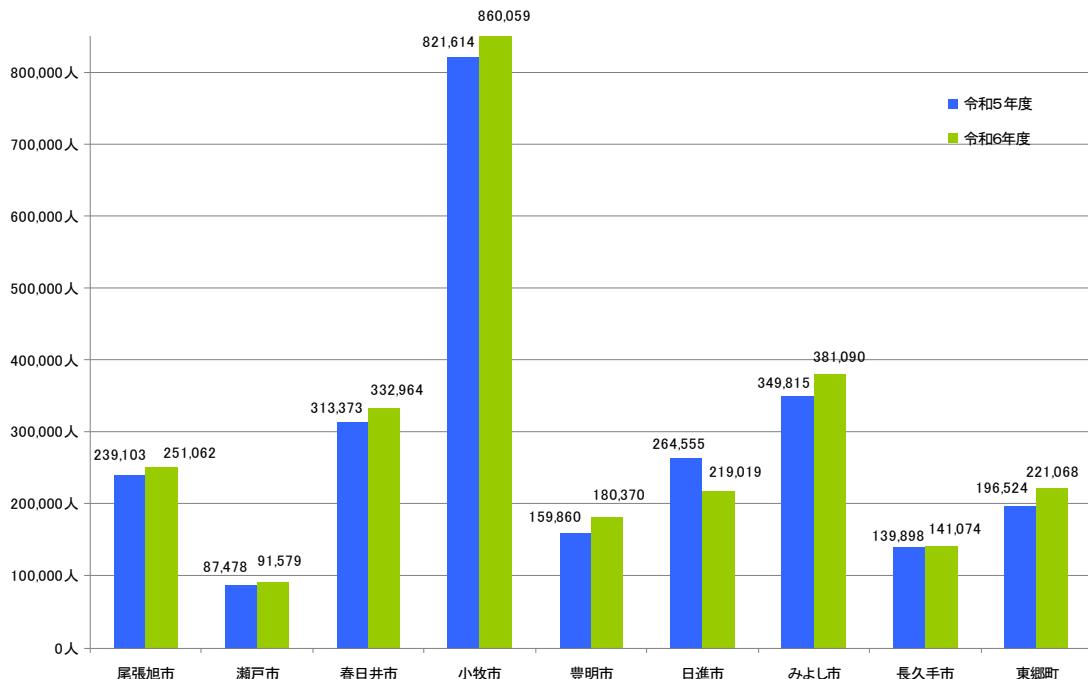
近隣市町のコミュニティバスにおける令和6年度の運行経費などの状況は、次のとおりです。

○ 運行経費等の状況



- 注) 各市町により、基本運賃や運賃特例などに違いがあるため、一概に数値のみの比較は難しい。
- ・全市町、市町村が主体となって乗合事業者に運行を委託しているもの（道路運送法4条許可による運行）
- ・国県からの補助を含む場合、運行経費と運賃収入十市町村実負担額が一致しない。

○ 年間利用者数



○ 近隣市町のコミュニティバスの内容（令和6年度）

市町村名	バス等の愛称	運行目的	委託事業者名
瀬戸市	瀬戸市コミュニティバス	交通不便地区の解消	瀬戸自動車運送(株)
春日井市	かすがいシティバス (はあとふるライナー)	昼間帯の高齢者の移動手段の提供 公共交通空白地域の解消 公共施設への接続	名鉄バス(株)
小牧市	こまぐる	交通空白地区の解消 公共施設の利用促進	あおい交通(株)
豊明市	ひまわりバス	市内の各拠点間および主要施設間の移動	名鉄バス(株)知立営業所
日進市	くるりんばす	交通空白地域の解消 市民の買い物・通院等の交通手段の確保 市民の社会参加、市民同士の交流の促進	名鉄バス(株)名古屋営業所
長久手市	N-バス	交通空白地区の解消 公共施設への利便性向上 交通弱者の社会参加促進 子育て支援	名鉄バス(株)
みよし市	さんさんバス	日常生活における市民の移動手段の確保	愛知つばめ交通(株)
東郷町	じゅんかい君 東郷・藤田医大バス	交通空白地区の解消 大規模病院へのアクセス利便性向上	瀬戸自動車運送(株) 名鉄バス(株)
尾張旭市	あさぴー号	交通空白地区の解消	豊栄交通(株)

市町村名	路線数	基本運行日	基本運賃	運賃特例
瀬戸市	8本	毎日 (年末年始を除く) ※路線によって異なる	100円	障害者は半額、身体障害者手帳等所持者は、付添人も半額 乳児(1歳未満)無料 幼児(1歳以上6歳未満)で、6歳以上に同伴される場合無料(幼児2名まで)
春日井市	4本	毎日 (年末年始を除く)	200円	未就学児、障がい者(手帳所持者)とその付添人1名まで無料 小学生、運転免許自主返納者カード・高齢者カード・マタニティカード所持者100円
小牧市	23本	毎日 (年末年始を除く)	200円	乗継自由。小学生半額。幼児(小学生未満)、65歳以上無料。 ※身体障害者手帳等を提示すれば本人及び付添人1名無料。 ※ピーチバス等の定期券を提示すれば無料。
豊明市	2本	毎日 (年末年始を除く)	100円	市内在住で中学生以下、身体障害者手帳等の携帯者と付添人1名無料
日進市	7本	毎日 (12/31～1/3を除く)	200円	他のコースに当日乗り継ぐ場合、1回のみ100円割引。中学生以下の子ども、身体障害者手帳等所持者、介護保険法による介護認定を受けている者とその付添人1名は無料。運転免許自主返納者は6ヶ月間無料。
長久手市	5本	毎日 (12/31～1/3を除く)	100円	中学生以下、未就学児1名につき付添人1名、妊婦、身体障害者手帳等所有者と付添人1名、介護保険法による介護認定を受けている者とその付添人1名無料
みよし市	3本	毎日 (年中無休)	100円	未就学児、障害者等の介助者、バス・乗合タクシー間の乗継無料
東郷町	4本	毎日 (年末年始を除く)	100円 外	中学生以下の子ども、65歳以上、身体障害者手帳等所有者と付添人1名無料
尾張旭市	2本	毎日 (年末年始を除く)	100円	未就学児及び障害者手帳等携帯者と付添人1名無料

5 市営バス運行に対する市民意識

より利用しやすい市営バスの運行を行うためには、市営バスの利用状況の調査・分析を行うとともに、市民ニーズや意見・提言等を把握して、現在の運行内容における課題・問題点を整理することが必要であると考えられます。

○ 利用者アンケート

利用者からの意見収集により、市営バス運行に係る利用者の属性と利用状況を明らかにし、運行の課題等を抽出することを目的として、次のとおり利用者アンケートを実施しました。

1 調査期日

令和6年12月10日（火）～令和6年12月12日（木）

【（参考）令和5年度調査】

令和5年12月14日（木）

2 調査方法

調査員（市都市計画課、豊栄交通株式会社）がバスに同乗し、調査期日の利用者に対して、アンケート調査表（様式参照）を配布し、車内に設置したアンケート回収箱により回収しました。

（回収期間：12月10日～1月10日）

3 回収結果

(1) 西ルート（右回り）	配布枚数 133枚	回収枚数 128枚
(2) 西ルート（左回り）	配布枚数 142枚	回収枚数 134枚
(3) 東ルート（右回り）	配布枚数 90枚	回収枚数 85枚
(4) 東ルート（左回り）	配布枚数 81枚	回収枚数 77枚
合 計	配布枚数 446枚	回収枚数 424枚 (回収率 95.1%)

尾張旭市営バス あさぴー号 利用者アンケート調査

このアンケートは、今後の運行改善の参考とするために尾張旭市が実施するものです。オンラインフォームで回答される場合は、下記URLまたは二次元コードをご活用ください。

オンラインフォームURL

<https://logoform.jp/form/zw2T/838834>



尾張旭市役所都市計画課

(当てはまる番号に○を付けてください。また、設問によっては言葉でお答えください。)

Q.あなたのことについてお聞きします。

①	年齢	1 80歳以上 5 40歳代	2 70歳代 6 30歳代	3 60歳代 7 20歳代	4 50歳代 8 20歳未満
②	自ら運転して使える交通手段	1 ない ※該当する項目全てに○をつけてください。	2 自転車 3 バイク 4 自動車		
③	あさぴー号の利用回数	1 ほとんど毎日 4 月1~3回程度	2 週3~4回程度 5 年に数回	3 週1~2回程度 6 はじめての利用	

Q.主に利用する目的・理由について

④	利用する目的 (2つまで)	1 買い物・飲食 4 市役所への用事(会議を含む) 7 仕事上での移動	2 レジャー・娯楽 5 通勤・通学 8 その他()	3 通院
⑤	利用する理由 (2つまで)	1 他に交通手段がない 3 利用時間がよかった 5 あさぴー号に興味があった 7 その他()	2 運賃が安く経済的なため 4 出発地・目的地が停留所に近い 6 自動車で外出するより便利	

Q.本日の利用について

⑥	乗降内容	乗車した停留所	降車した(する)停留所	降車後、東ルートへの乗換
		⇒		1 する 他の電車・バスへの乗換 2 しない
※停留所番号のみの記入でも結構です。				

Q. あさぴー号の運行内容について項目ごとに5段階評価でお答えください。

⑦	運行ダイヤ (時間帯・間隔)	1 とてもよい 4 あまりよくない	2 まあよい 5 かなり悪い	3 どちらともいえない
⑧	運転手の対応 (接客・マナー)	1 とてもよい 4 あまりよくない	2 まあよい 5 かなり悪い	3 どちらともいえない
⑨	あさぴー号全体の満足度	1 とてもよい 4 あまりよくない	2 まあよい 5 かなり悪い	3 どちらともいえない
4または5を選択されたかたは具体的にご記入ください。				

その他感想、意見、利用促進のアイデアなどをご自由にご記入ください。

.....
.....
.....

ご協力ありがとうございました。

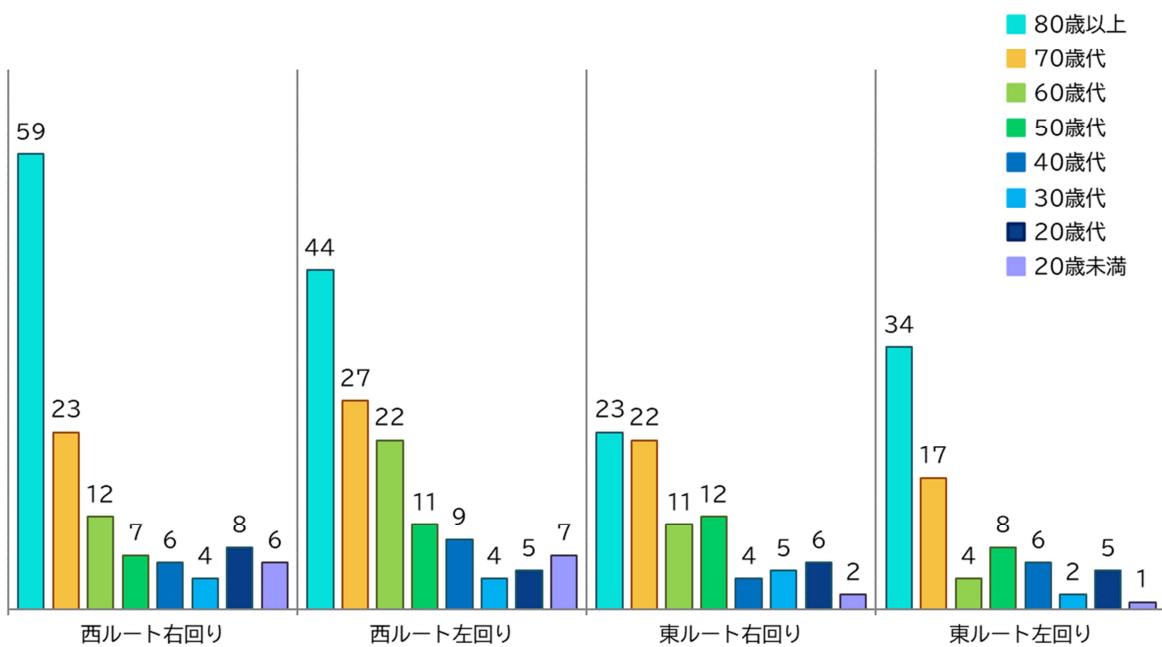
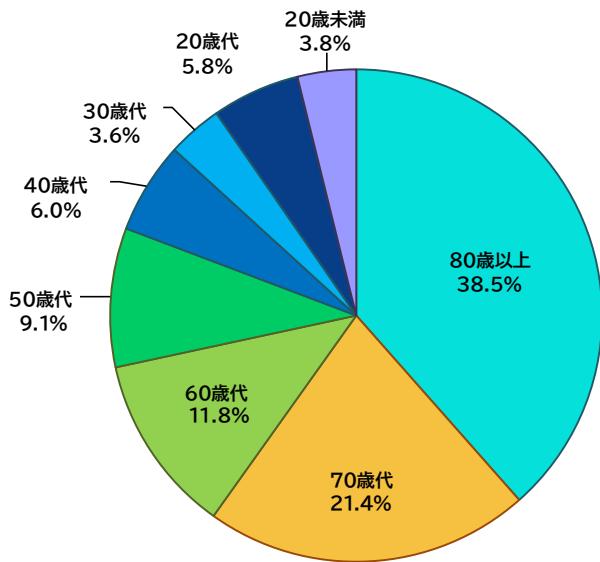
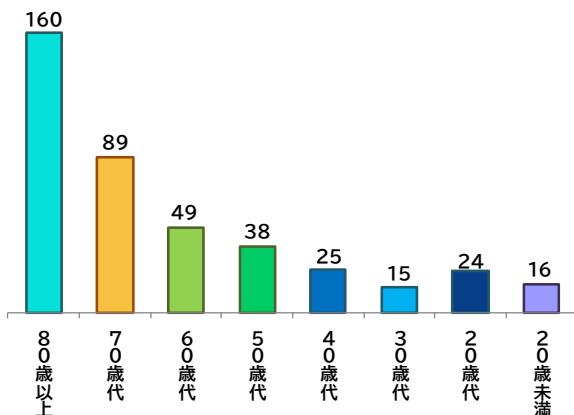
※自由記述欄が不足する場合は、裏面に続きを記入してください。

令和6年度利用者アンケート調査集計結果

1 集計結果

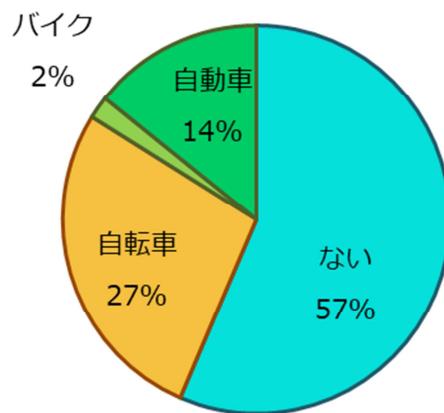
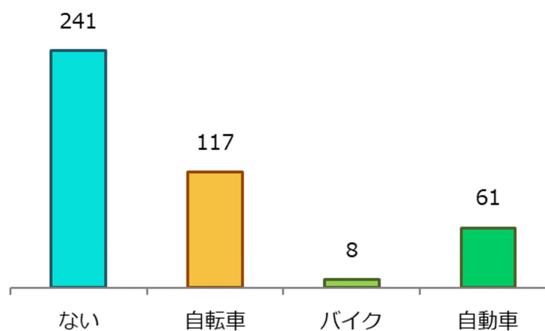
Q. あなたのことについてお聞きします。

①年齢



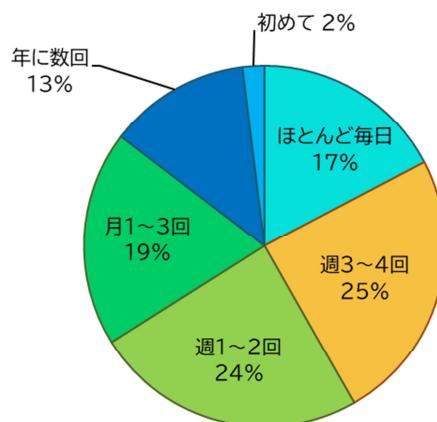
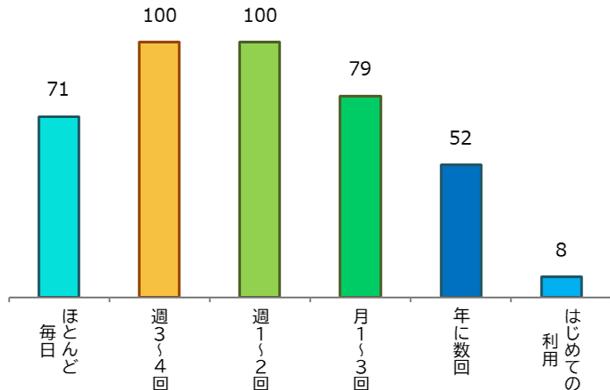
- 年齢について、「60歳代」以上の人気が約7割となっている。
- ルート別では、東ルート、西ルートとも「80歳以上」の利用者が最も多い。

②自ら運転して使える交通手段（複数回答可）



- 自ら運転して使える交通手段について、「ない」と答えた人は、昨年度から1ポイント増えて、57%となっている。
- 「自転車」と答えた人と、「自動車」と答えた人は、昨年度と変わらず、それぞれ27%、14%となっている。

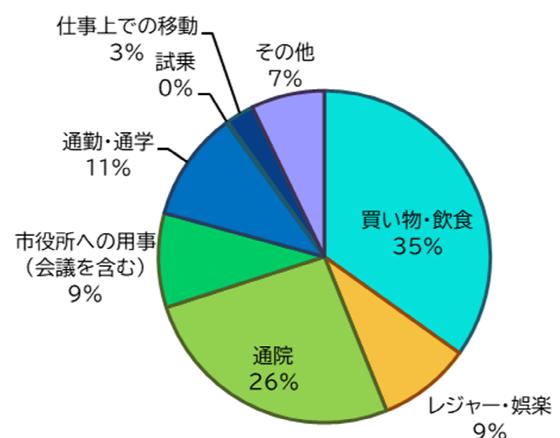
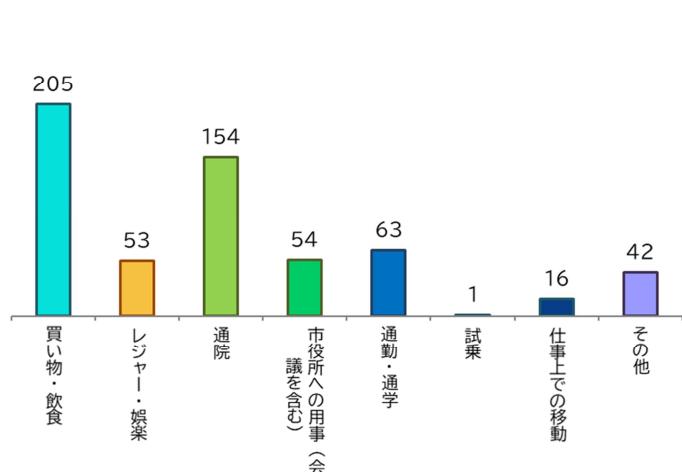
③尾張旭市営バスの利用回数



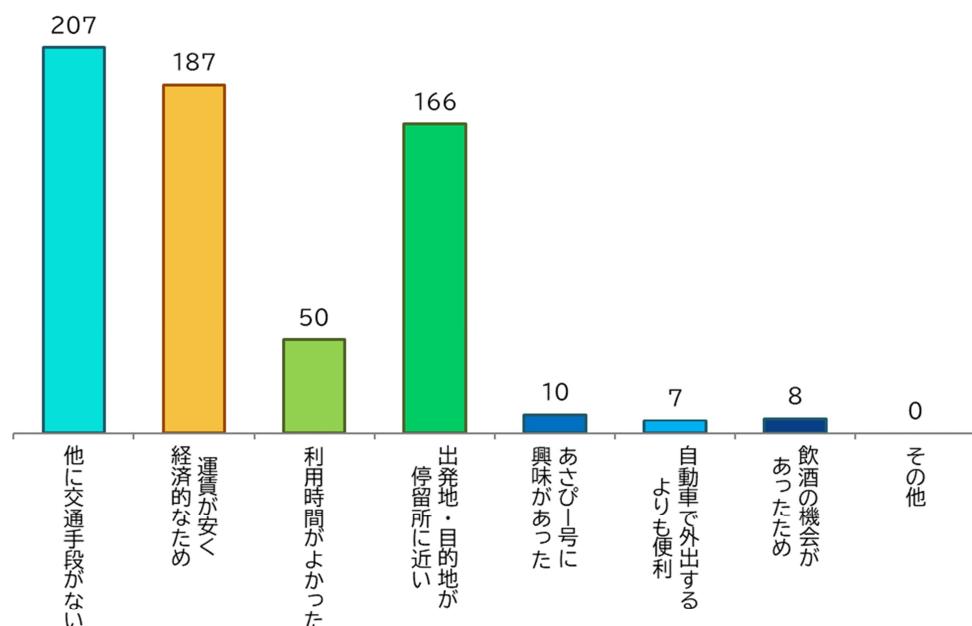
- 「ほとんど毎日」、「週3~4回」の利用と答えた人は、約4割を占め、「週1~2回」の利用と答えた人は、昨年度より3ポイント増えて21%となっている。
- 「月1~3回」の利用と答えた人は、昨年度より2ポイント減り、19%となっている。

Q. あなたが、あさぴー号を利用する目的・理由などについてお聞きします。

④利用する目的（2つまで選択可）



⑤利用する理由（2つまで選択可）

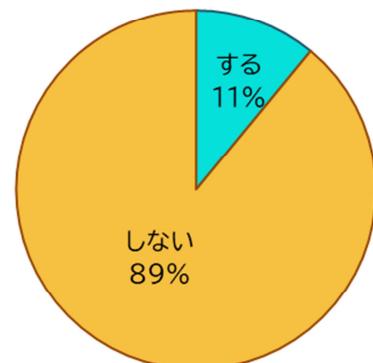
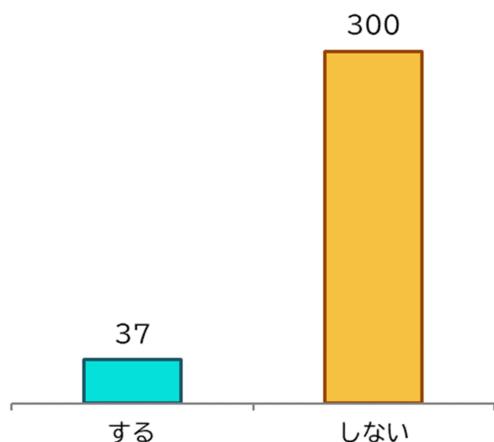


- 利用理由は、「他に交通手段がないから」と答えた人が特に多く、次いで「運賃が安く経済的だから」、「出発地・目的地が停留所に近い」と答えた人が多かった。

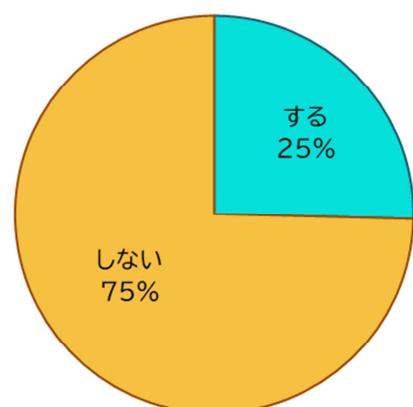
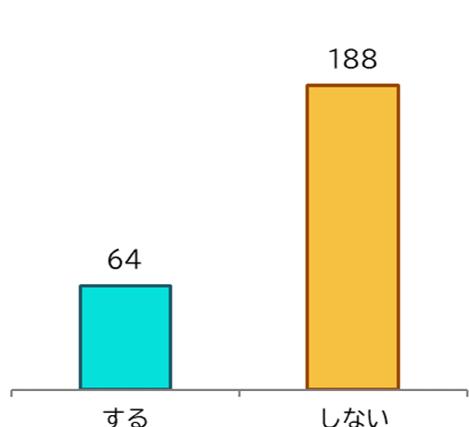
Q.あなたがどのようにあさぴー号を利用しているのかお聞きします。

⑥乗降内容

乗降後、他ルートへの乗換え



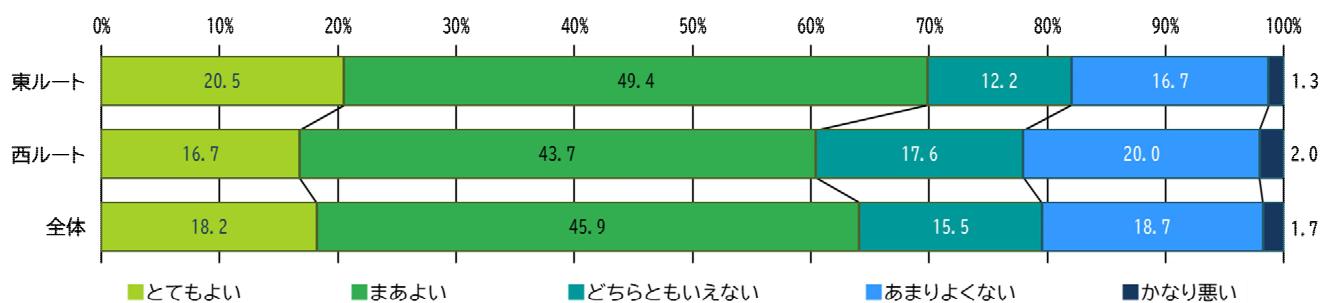
他の公共交通への乗換え



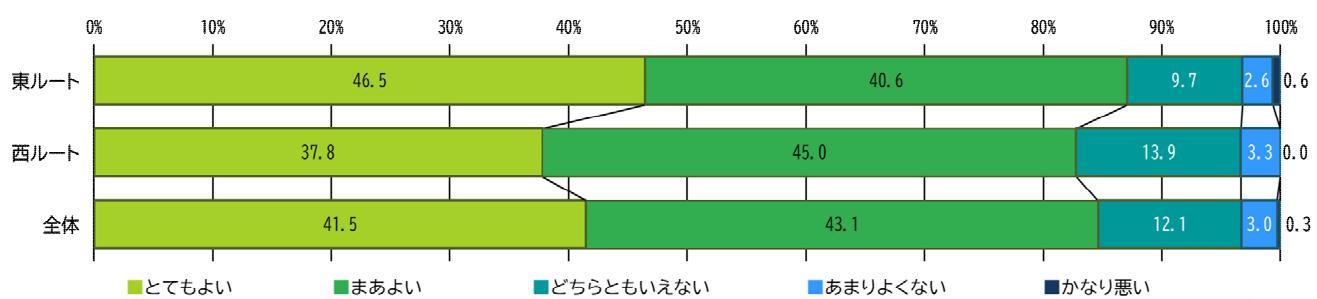
- ・「あさぴー号の他ルートへの乗換え」をしていると答えた人は、昨年度より 1 ポイント減り、11%となっている。
- ・「他の公共交通への乗換え」をしていると答えた人は、昨年度より 2 ポイント減り、25%となり、多くの方があさぴー号を利用して直接目的地に向かっていると考えられる。

Q. 市営バスの運行の内容について項目ごとに5段階評価でお答えください。

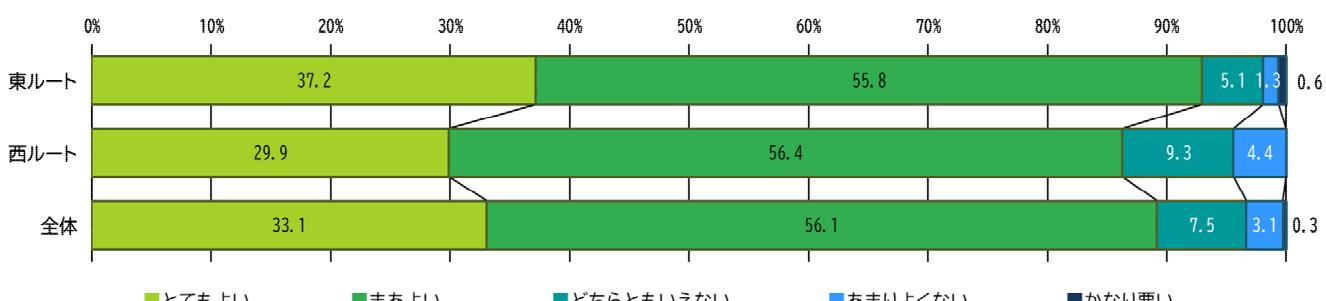
a 運行ダイヤ（時間帯・間隔）



b 運転手の対応（接客・マナー）



c 全体



- 「運行ダイヤ」以外は、「とてもよい」、「まあよい」を合わせると約9割となっており、利用者満足度は高い状況にあるといえる。
- 「運行ダイヤ」は、「とてもよい」、「まあよい」の割合が他の項目に比べて約2割低くなっている。
- 「停留所（位置・間隔）」については、「とてもよい」、「まあよい」を合わせると昨年度より向上し、全体で約9割となっている。

2 まとめ

○ 利用者の特徴

利用者は、「60歳」以上の利用が約7割となっています。

自ら運転できる交通手段を「持たない」と答えた方が最も多く、利用頻度については「ほとんど毎日」、「週3～4回程度」、「週1～2回程度」と答えた方が約7割を占めていることから、交通手段を持たない方や遠方に出かける方にとって、あさびー号は欠かせないものとなっています。

あさびー号を利用する理由として、「他に交通手段がないから」と答えた方が特に多く、次いで「運賃が安く経済的だから」、「出発地・目的地が停留所に近い」と答えた方が多い結果となりました。その利用目的としては、「買い物・飲食」や「通院」が多いことから、あさびー号が主に高齢の方々の日常生活における重要な移動手段となっていることが伺えます。

運行内容に関する項目では、3つの項目のうち2つの項目で、「とてもよい」、「まあよい」と答えた方が9割を超えており、全体的に高い評価を得られています。